



2021年度 後期
学生による授業改善アンケート集計結果

日本赤十字看護大学 さいたま看護学部

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】		3
2.	【演習】		4
3.	【実習】		5
4. 授業改善アンケート結果	【講義－全体】		6
5. 授業改善アンケート結果	【講義－科目別】		7
6. 教員からのコメント一覧	【講義】		43
7. 授業改善アンケート結果	【演習－全体】		48
8. 授業改善アンケート結果	【演習－科目別】		49
9. 教員からのコメント一覧	【演習】		55
10. 授業改善アンケート結果	【実習－全体】		56
11. 授業改善アンケート結果	【実習－科目別】		57
12. 教員からのコメント一覧	【実習】		59

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって価値があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私の授業への出席率は、(5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下)だった。	5(9割以上)、4(8～7割程度)、3(6～5割程度)、2(4割程度)、1(3割以下)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
16	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

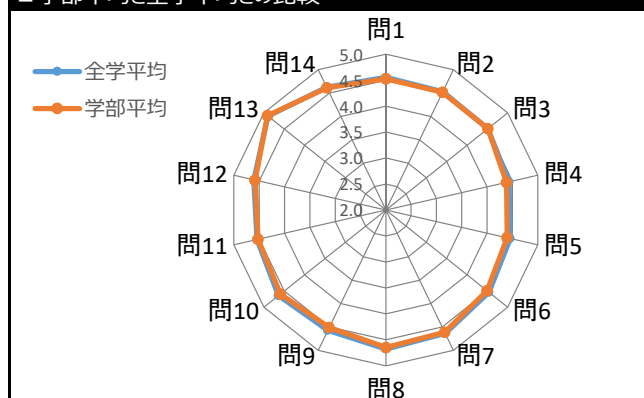
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導者の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	学生は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

学 部	さいたま看護学部	履修者数	2054	回答率	
		回答数	1478	72.0%	

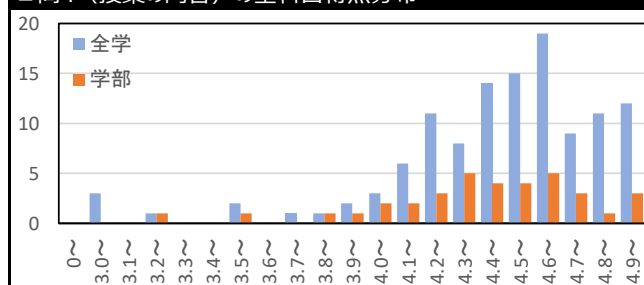
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学平均	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	869527						66	4.53	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	858537						68	4.51	4.53
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	866520						69	4.51	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	782526						127	4.38	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	798517						113	4.40	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	865499						93	4.49	4.54
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	971450						45	4.61	4.63
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	1006424							4.65	4.68
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	922438						81	4.51	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	962451						51	4.60	4.64
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	909460						81	4.52	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	951445						68	4.58	4.60
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	1354						113	4.91	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	970452							4.61	4.62
問1～14全問平均								4.56	4.59	

■ 学部平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布

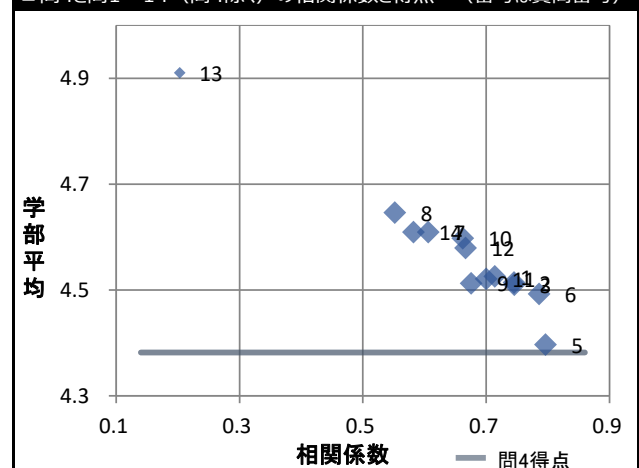


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 学部平均が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

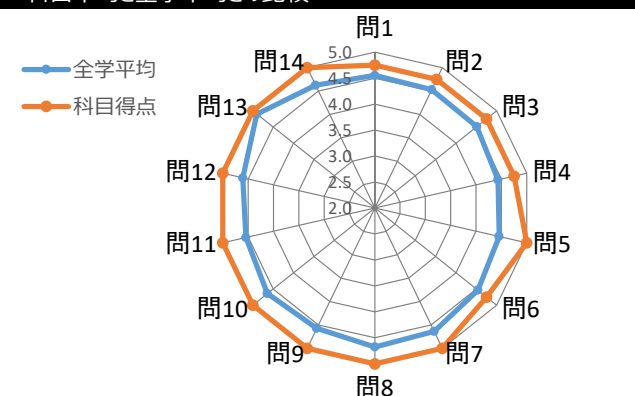
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	哲学と倫理	[2B0020]	学部	さいたま看護学部	履修者数	30	回答率
教員名	田村 未希		授業形態	講義	回答数	4	13.3%

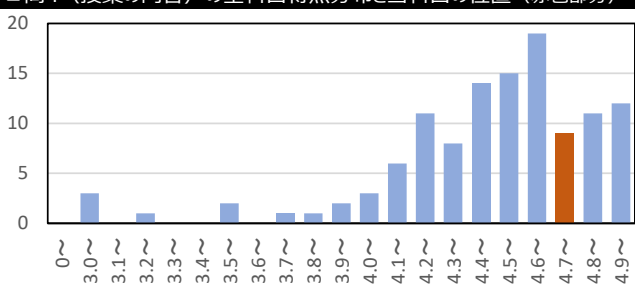
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			3		1		4.75	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			3		1		4.75	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。			3		1		4.75	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。			3		1		4.75	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。			4				5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。			3		1		4.75	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			4				5.00	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。			3		1		5.00	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。			4				5.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。			4				5.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			4				5.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。			4				5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。			4				5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			4				5.00	4.62
問1〜14全問平均								4.91	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

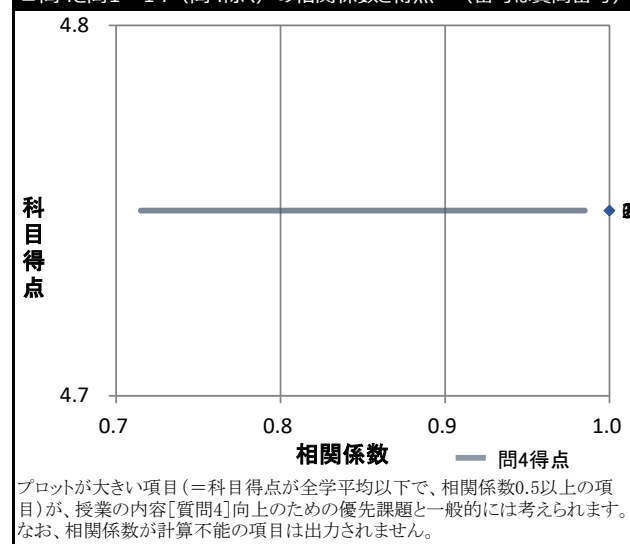


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	臨床心理学	[2B0040]	学部	さいたま看護学部	履修者数	44	回答率
教員名	遠藤 公久		授業形態	講義	回答数	1	2.3%

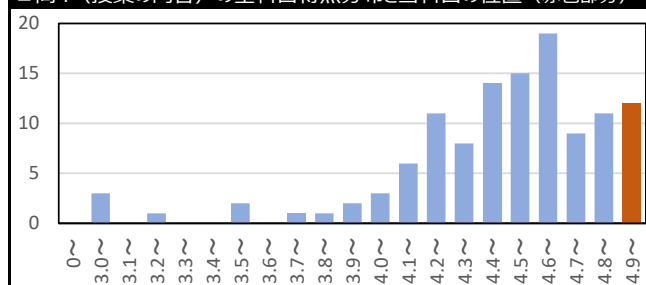
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							5.00	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							5.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。							5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。							5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。							5.00	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							5.00	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							5.00	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							5.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。							5.00	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							5.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							5.00	4.62
問1~14全問平均								5.00	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

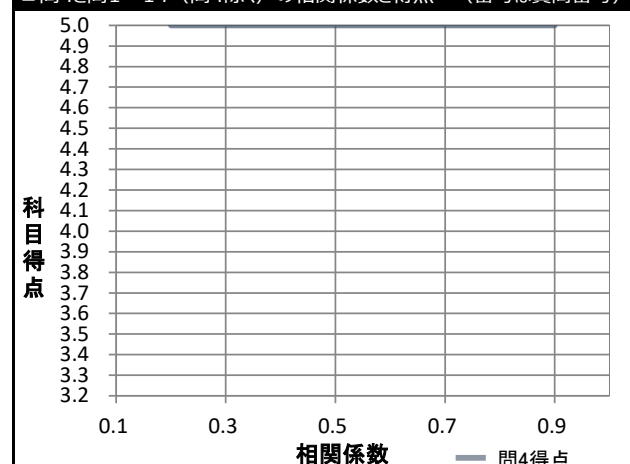


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

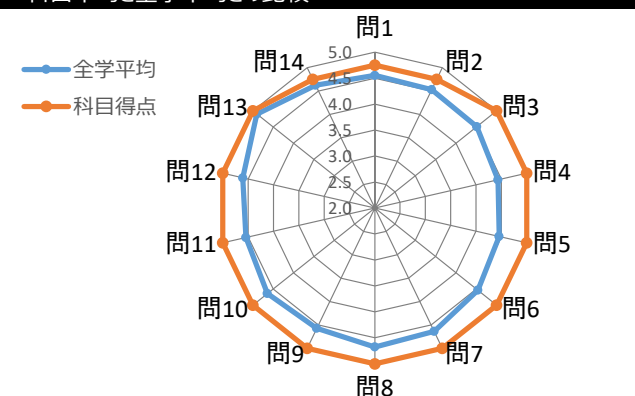
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	教育学概論	[2B0050]	学部	さいたま看護学部	履修者数	26	回答率
教員名	渋谷 真樹		授業形態	講義	回答数	4	15.4%

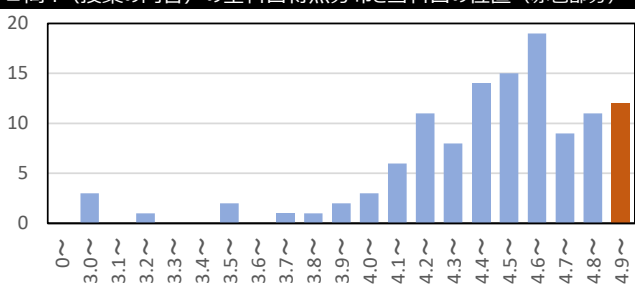
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。			3		1		4.75	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。			3		1		4.75	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。			4				5.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。			4				5.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。			4				5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。			4				5.00	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。			4				5.00	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。			4				5.00	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。			4				5.00	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。			4				5.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。			4				5.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。			4				5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。			4				5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。			3		1		4.75	4.62
問1〜14全問平均								4.95	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

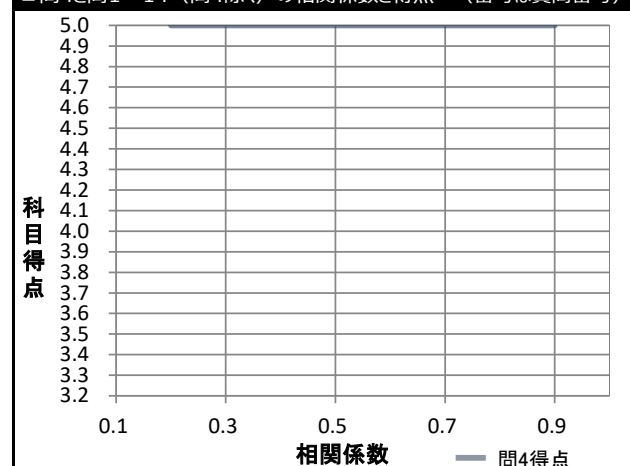


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

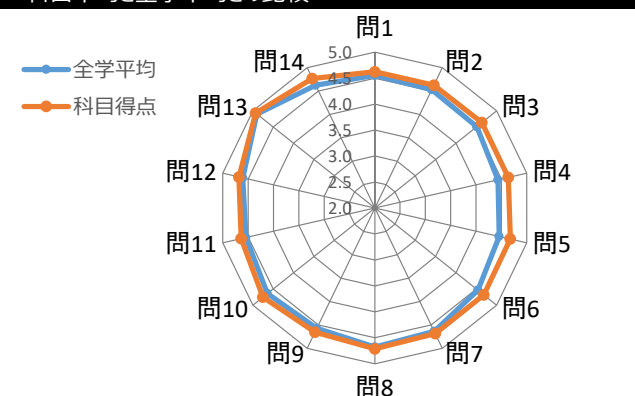
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	身体運動理論	[2B0070]	学部	さいたま看護学部	履修者数	77	回答率
教員名	白井 美穂		授業形態	講義	回答数	69	89.6%

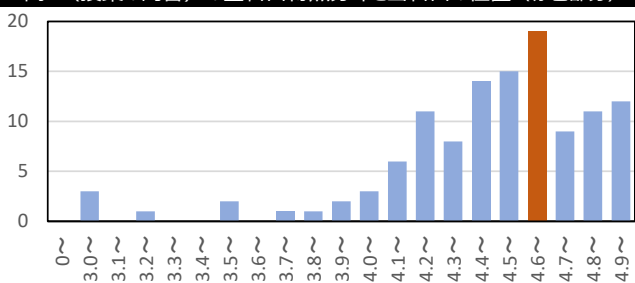
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	46	20	3				4.62	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	45	22					4.62	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	46	21					4.64	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	46	21					4.64	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	48	18					4.68	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	48	20					4.68	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	49	18					4.68	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	50	18					4.71	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	47	20					4.65	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	52	17					4.75	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	44	25					4.64	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	47	22					4.68	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	64	5					4.93	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	53	16					4.77	4.62
問1〜14全問平均								4.69	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

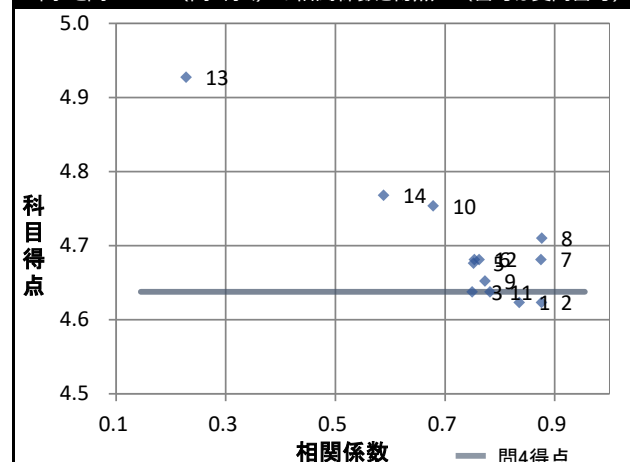


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

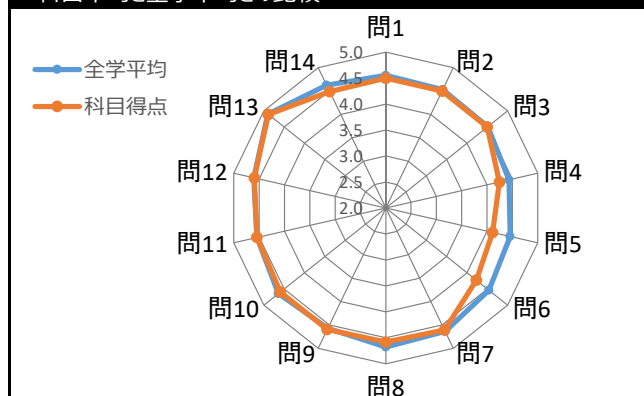
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	社会学概論	[2C0010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	鷹田 佳典		授業形態	講義	回答数	74	82.2%

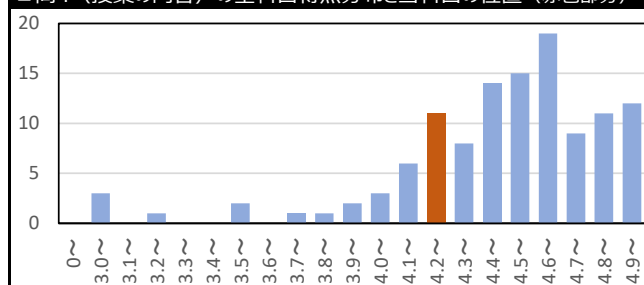
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	42	27	5				4.50	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	42	28	3				4.50	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	42	27	5				4.50	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	34	24	16				4.24	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	32	23	14	5			4.11	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	32	28	13				4.23	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	49	21	4				4.61	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	49	19	6				4.58	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	48	22	4				4.59	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	48	22	4				4.59	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	46	22	6				4.54	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	47	24	3				4.59	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	67	6					4.89	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	39	32	3				4.49	4.62
問1〜14全問平均								4.50	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

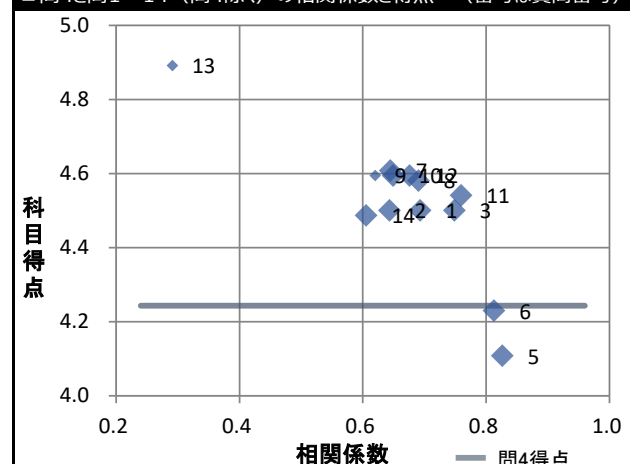


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガハは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

2021年度後期

科目名	臨床社会学	[2C0020]	学部	さいたま看護学部	履修者数	35	回答率
教員名	鷹田 佳典		授業形態	講義	回答数	4	11.4%

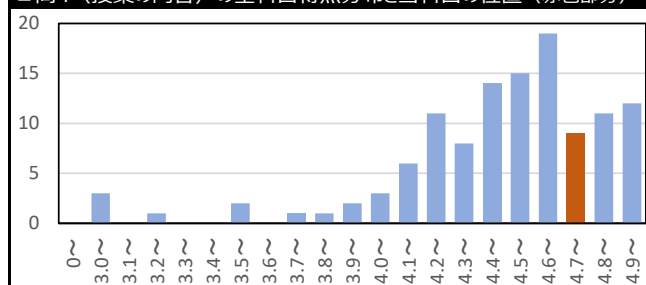
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4						5.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4						5.00	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	4						5.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	3			1			4.75	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3			1			4.75	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	4						5.00	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4						5.00	4.63
8	シラバス(または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	4						5.00	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3			1			4.75	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	4						5.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4						5.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4						5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ～ 7 割程度、3:6 ～ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	3			1			4.75	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4						5.00	4.62
問1～14全問平均								4.93	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

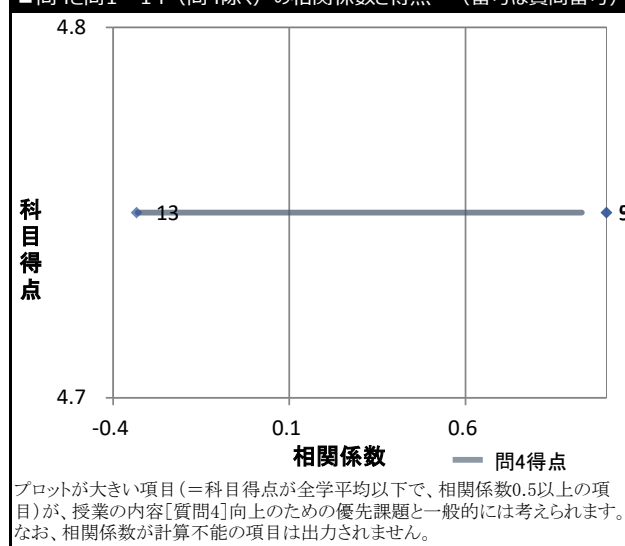


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

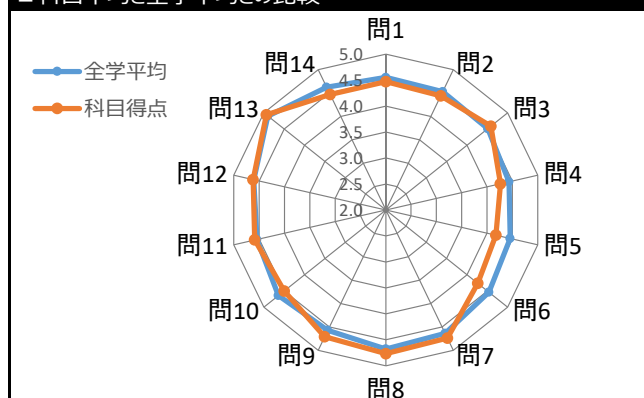
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	日本国憲法 [2C0040]	学部	さいたま看護学部	履修者数	83	回答率	
教員名	川口 かしみ	授業形態	講義	回答数	34	41.0%	

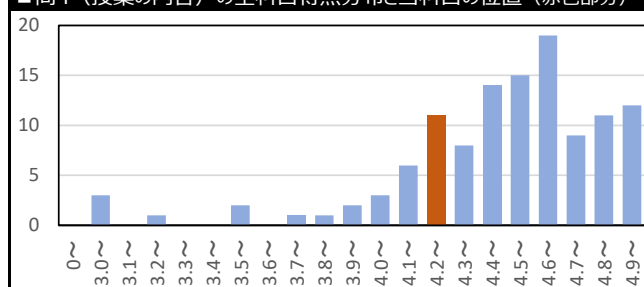
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	20	11	2				4.47	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	18	13	3				4.44	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	20	14					4.59	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	17	11	4	2			4.26	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	16	11	4	3			4.18	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	17	11	4	2			4.26	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	26	7					4.74	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	26	8					4.76	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	24	10					4.71	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	21	10	2				4.50	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	24	8					4.59	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	24	7	3				4.62	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	31	2	1				4.94	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	19	12	3				4.47	4.62
問1〜14全問平均								4.54	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

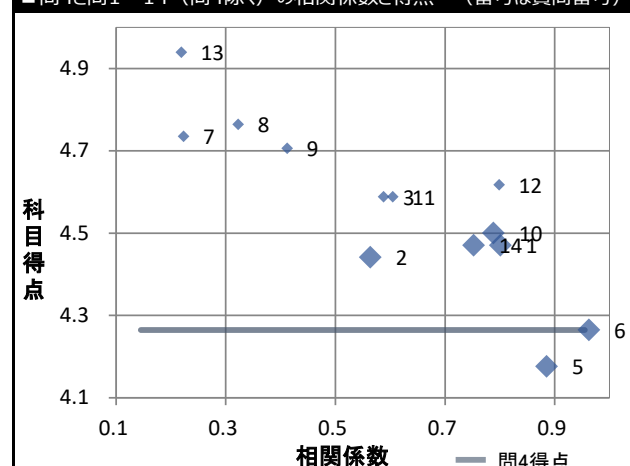


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そう思わない	
1	全くそう思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

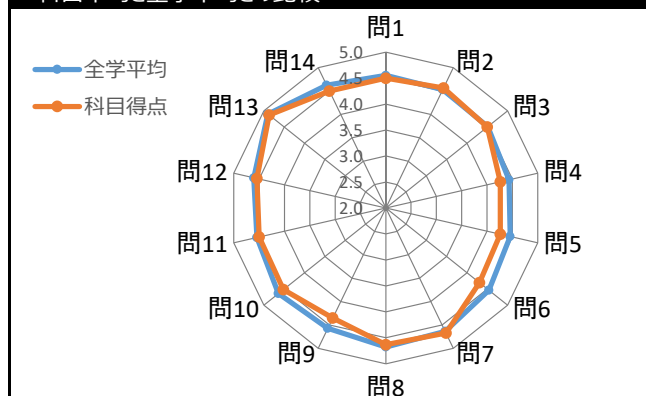
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	数学	[2D0010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	51	回答率
教員名	岩田 光弘		授業形態	講義	回答数	46	90.2%

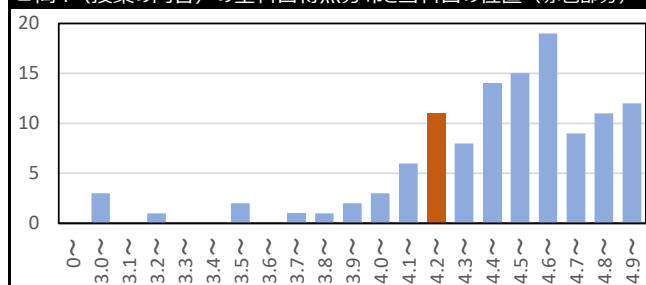
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	27	15	4				4.50	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	29	15					4.57	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	28	15	2				4.50	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	25	10	9	2			4.26	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	25	10	9	2			4.26	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	25	12	7	2			4.30	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	33	11	2				4.67	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	31	13	2				4.63	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	27	12	4	2			4.35	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	27	16	3				4.52	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	29	13	3				4.50	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	29	15					4.54	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	41	4					4.87	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	28	13	5				4.50	4.62
問1~14全問平均								4.50	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

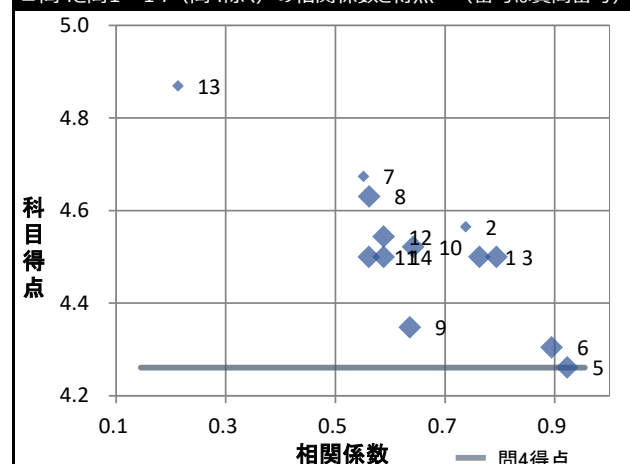


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

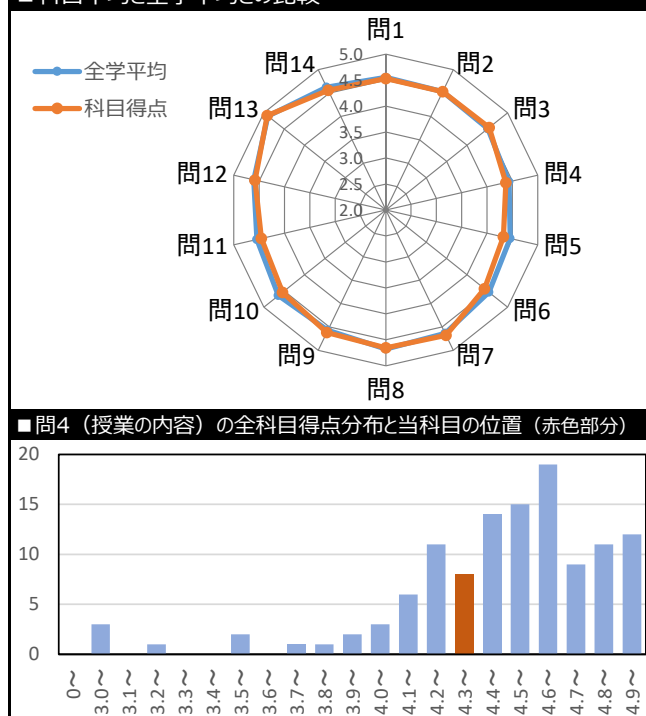
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	情報学概論	[2E0010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	85	回答率
教員名	岡田 彩子		授業形態	講義	回答数	81	95.3%

■ 質問別回答内訳と得点

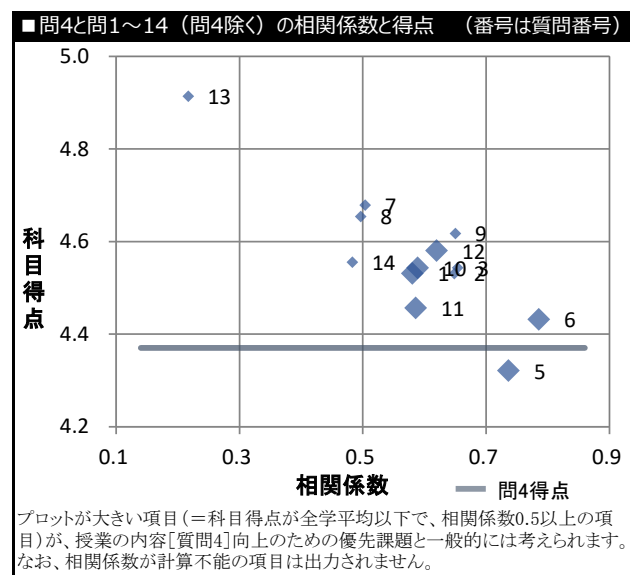
番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	43				38		4.53	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	43				38		4.53	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	47				32		4.54	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	40				33	6	4.37	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	36				36	8	4.32	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	41				34	6	4.43	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	56				24		4.68	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	55				24		4.65	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	52				27		4.62	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	47				31	3	4.54	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	46				27	7	4.46	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	50				28	3	4.58	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	74				7		4.91	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	49				29		4.56	4.62
問1〜14全問平均								4.55	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均



授業改善アンケート【講義】科目別集計

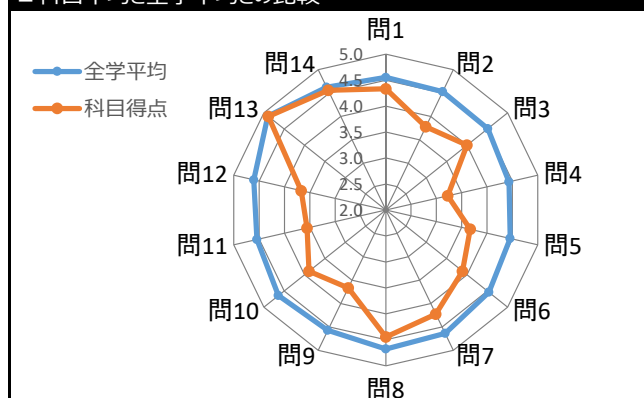
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	情報科学	[2E0020]	学部	さいたま看護学部	履修者数	41	回答率
教員名	逸見 功		授業形態	講義	回答数	9	22.0%

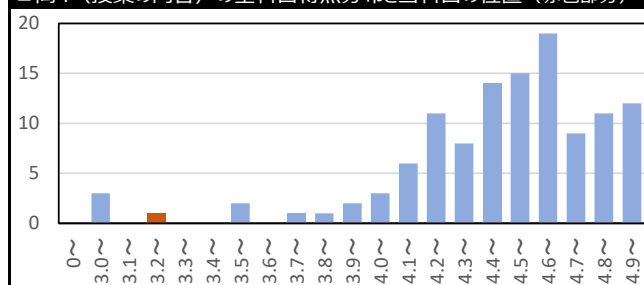
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4	4	1				4.33	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2	4	2	1			3.78	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	2	4	2	1			4.00	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	1	3	2	3			3.22	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	2	4	1	2			3.67	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	1	6	2				3.89	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4	4	1				4.22	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	4	5					4.44	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	3	3	3				3.67	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	3	4	2				3.89	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3	3	2	1			3.56	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	2	4	1	2			3.67	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	8	1					4.89	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6	2	1				4.56	4.62
問1~14全問平均								3.98	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

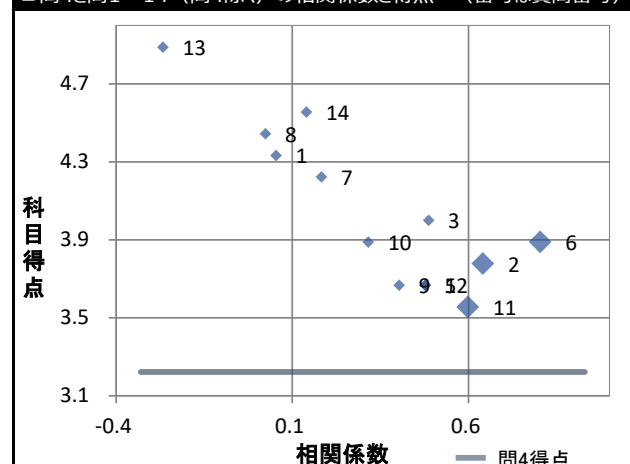


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

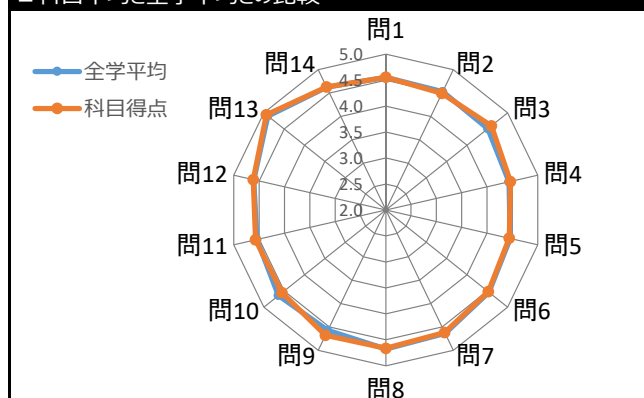
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	日本語の表現 [2F0010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	76	回答率	
教員名	越後 敬子	授業形態	講義	回答数	65	85.5%	

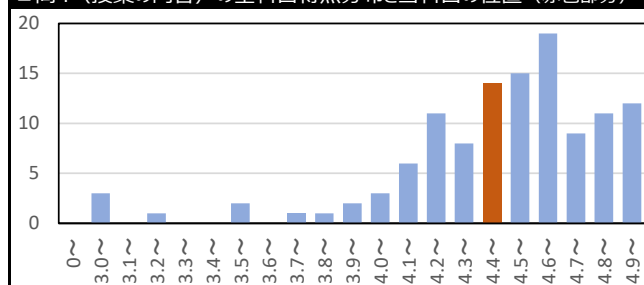
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	38				25	2	4.55	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	35				27	3	4.49	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	41				22	2	4.60	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	35				25	5	4.46	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	34				24	6	4.44	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	37				25	3	4.52	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	43				20	1	4.62	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	45				18	2	4.66	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	46				17	2	4.68	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	39				23	3	4.55	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	39				24	2	4.57	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	43				19	3	4.62	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	61					4	4.94	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	41				24		4.63	4.62
問1~14全問平均								4.59	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

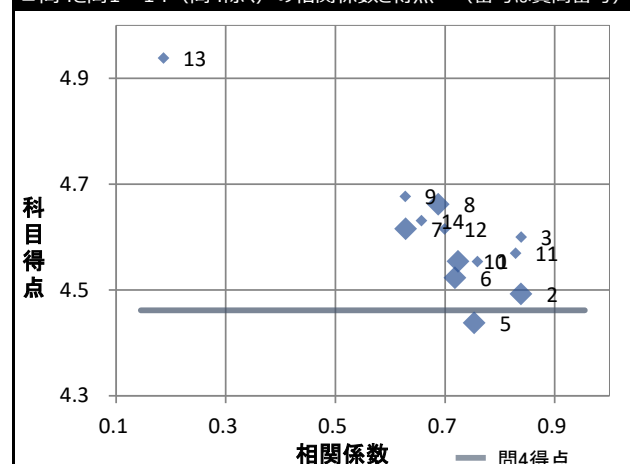


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

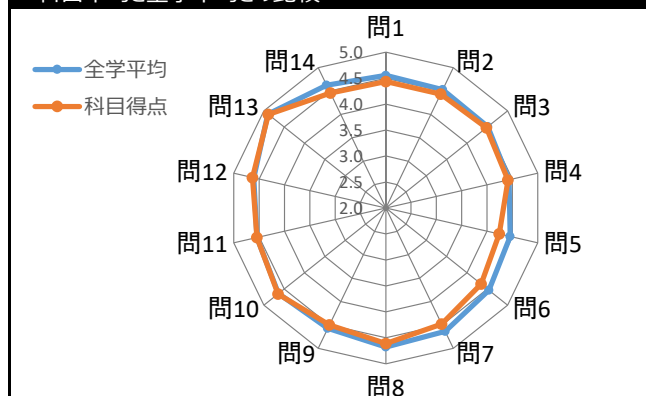
2021年度後期

科目名	英語RW II	[2F0031]	学部	さいたま看護学部	履修者数	49	回答率
教員名	川崎 修一		授業形態	講義	回答数	46	93.9%

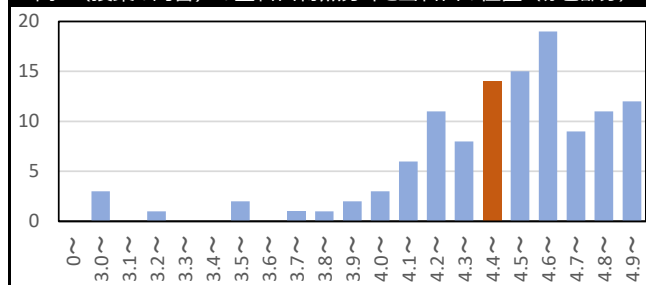
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	25	17	3				4.43	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	23	21					4.43	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	24	20	2				4.48	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	23	20	2				4.41	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	19	21	5				4.24	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	23	17	5				4.35	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	27	15	3				4.48	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	29	16					4.61	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	25	19	2				4.50	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	31	14					4.65	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	28	16					4.54	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	30	15					4.63	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	41	5					4.89	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	26	16	3				4.46	4.62
問1~14全問平均								4.51	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

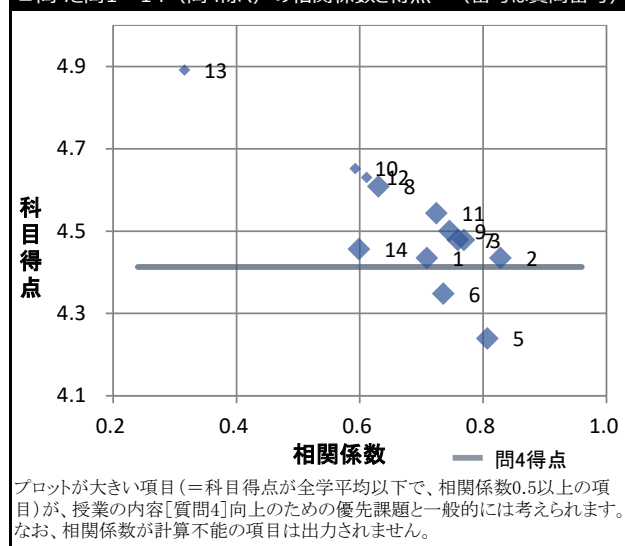


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

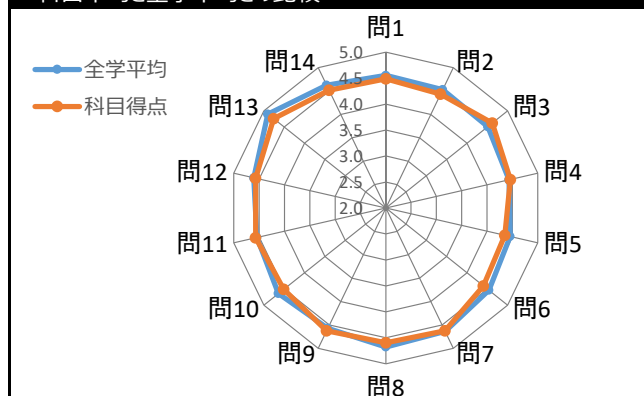
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	英語RW II	[2F0032]	学部	さいたま看護学部	履修者数	41	回答率
教員名	遠藤 花子		授業形態	講義	回答数	37	90.2%

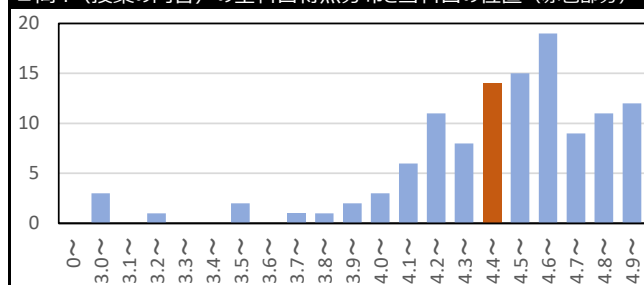
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	19				17		4.49	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	17				19		4.43	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	23				14		4.62	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	18				18		4.46	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	18				15	3	4.35	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	17				18	2	4.41	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	23				14		4.62	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	22				15		4.59	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	23				14		4.62	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	20				16		4.51	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	22				14		4.57	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	22				14		4.57	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	29				7		4.76	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	20				16		4.51	4.62
問1〜14全問平均								4.54	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

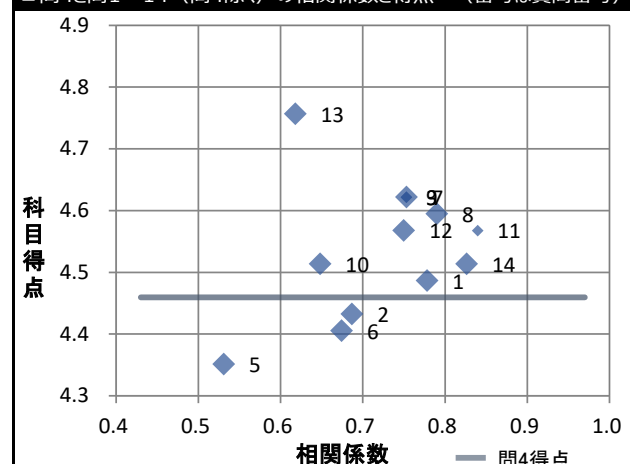


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1〜14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

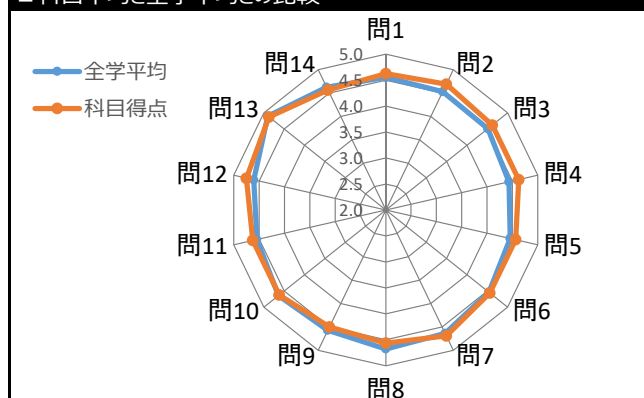
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	中国語Ⅱ	[2F0080]	学部	さいたま看護学部	履修者数	18	回答率
教員名	神谷 智幸		授業形態	講義	回答数	16	88.9%

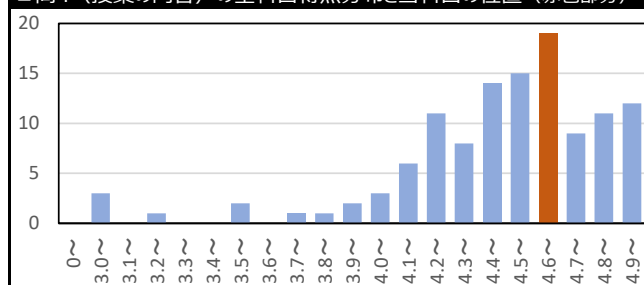
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	10				6		4.63	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	11				5		4.69	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10				6		4.63	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	10				6		4.63	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	9				7		4.56	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	9				7		4.56	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	11				5		4.69	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9				7		4.56	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	8				8		4.50	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	10				6		4.63	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	10				6		4.63	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	12				4		4.75	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	14				2		4.88	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9				7		4.56	4.62
問1〜14全問平均								4.63	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

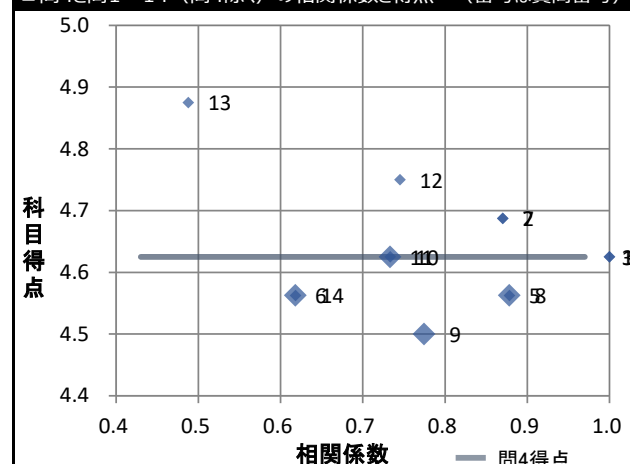


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
	5	強くそう思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

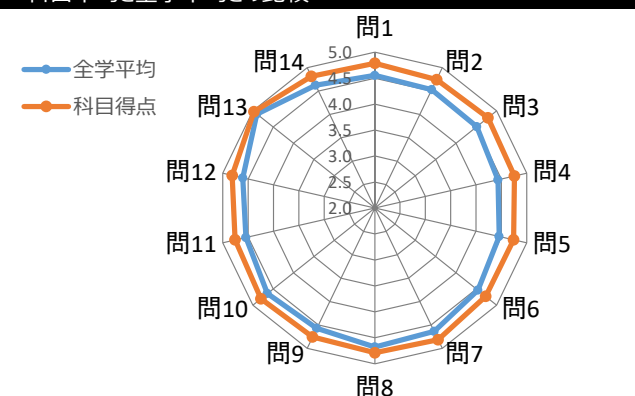
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	韓国語Ⅱ	[2F0100]	学部	さいたま看護学部	履修者数	85	回答率
教員名	高 昌弘		授業形態	講義	回答数	70	82.4%

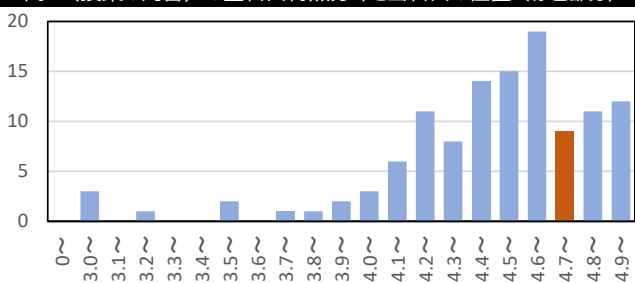
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	55				15		4.79	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	52				18		4.74	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	55				15		4.79	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	54				15		4.76	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	53				16		4.74	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	52				17		4.73	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	57				13		4.81	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	55				15		4.79	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	53				17		4.76	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	56				14		4.80	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	54				15		4.76	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	57				13		4.81	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	68						4.97	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	57				13		4.81	4.62
問1〜14全問平均								4.79	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

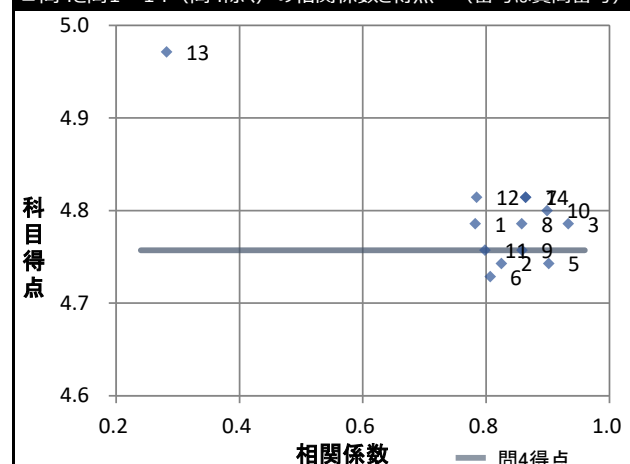


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

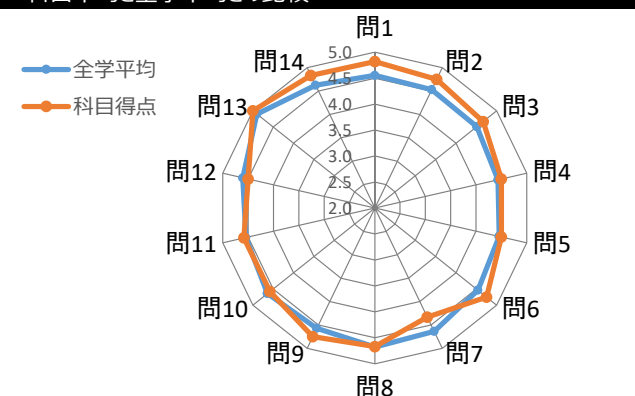
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0021]	学部	さいたま看護学部	履修者数	12	回答率	
教員名	遠藤 公久		授業形態	講義	回答数	12	100.0%	

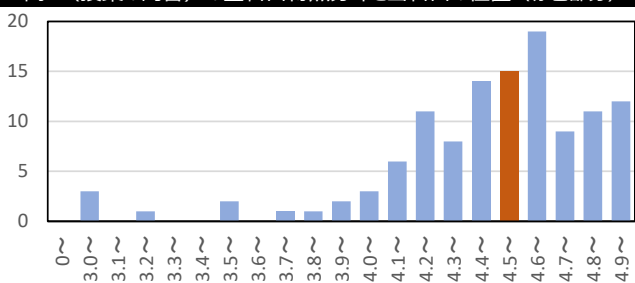
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	9	2	1				4.82	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9	3					4.75	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	4					4.67	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	7	4	1				4.50	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	8	3	1				4.50	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	9	3					4.75	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	7	4	1				4.33	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	4					4.67	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	9	3					4.75	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	8	3	1				4.58	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	8	3	1				4.58	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	8	2	2				4.50	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	12						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	2					4.83	4.62
問1〜14全問平均								4.66	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

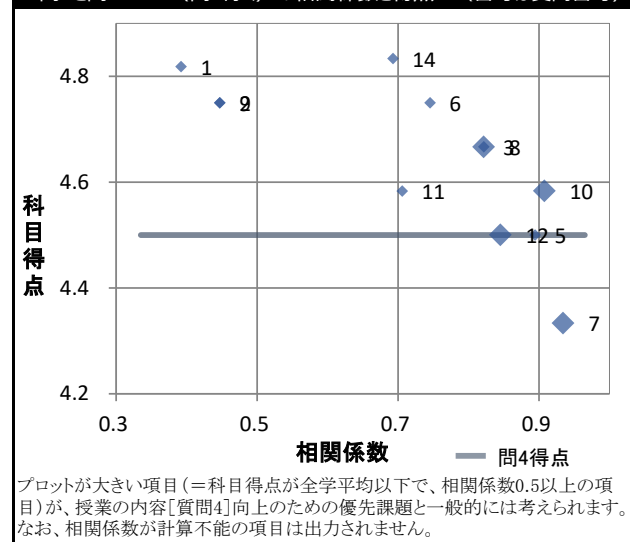


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そう思わない	
1	全く思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0022]	学部	さいたま看護学部	履修者数	12	回答率
教員名	鷹田 佳典		授業形態	講義	回答数	11	91.7%

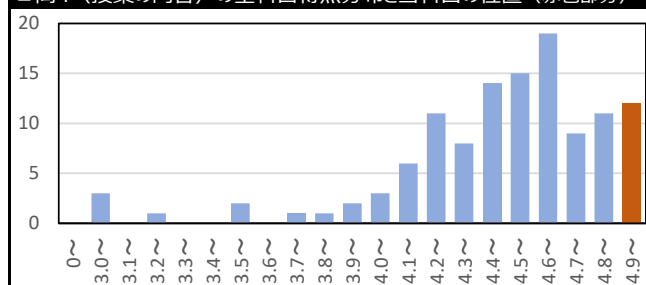
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。						10	4.91	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。						10	4.91	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。						10	4.91	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。						10	4.91	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。						11	5.00	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。						10	4.91	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。						10	4.91	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。						10	4.91	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。						10	4.91	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。						10	4.91	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。						10	4.91	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。						10	4.91	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。						11	5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。						11	5.00	4.62
問1〜14全問平均								4.93	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

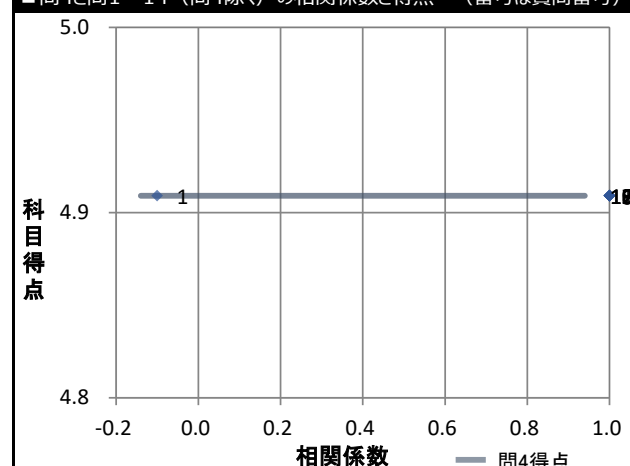


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1〜14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

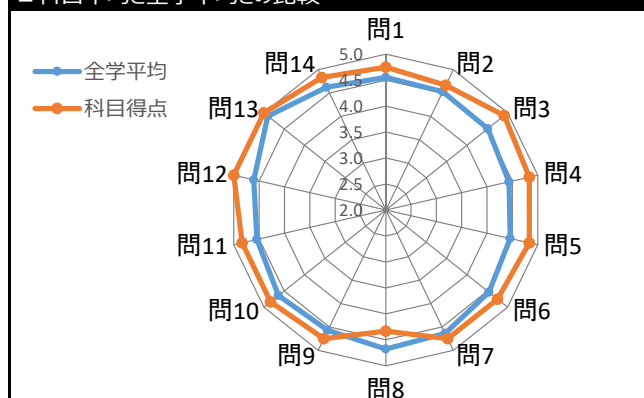
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0023]	学部	さいたま看護学部	履修者数	12	回答率
教員名	白井 美穂		授業形態	講義	回答数	12	100.0%

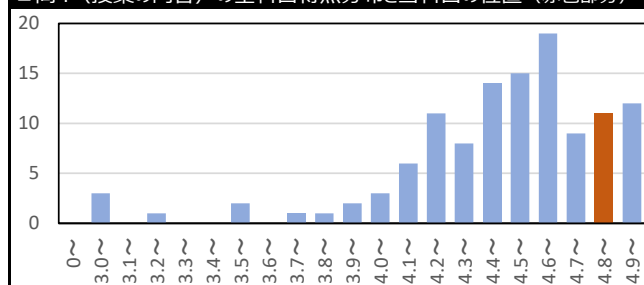
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	9 3						4.75	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	8 4						4.67	4.53
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	11 1						4.92	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	10 2						4.83	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	10 2						4.83	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	10 1 1						4.75	4.54
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	9 3						4.75	4.63
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	8 2 1 1						4.33	4.68
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	9 3						4.75	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	10 2						4.83	4.64
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	10 2						4.83	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	12						5.00	4.60
13	私の授業への出席率は、（5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下）だった。	12						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10 2						4.83	4.62
問1～14全問平均								4.79	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

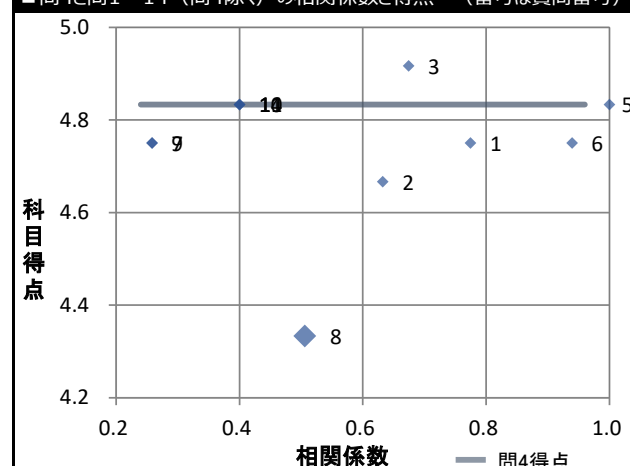


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

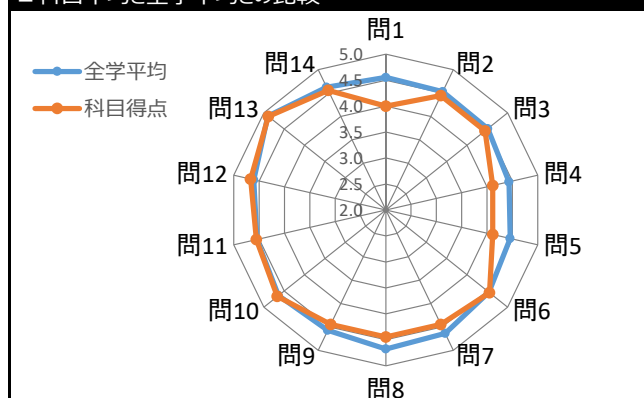
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0024]	学部	さいたま看護学部	履修者数	11	回答率
教員名	角田 敦彦		授業形態	講義	回答数	9	81.8%

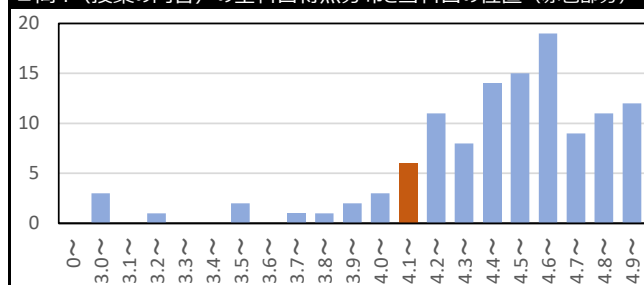
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2	5	2				4.00	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4	5					4.44	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4	5					4.44	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	3	4	2				4.11	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3	5	1				4.11	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	5	4					4.56	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5	3	1				4.44	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5	3	1				4.44	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	5	3	1				4.44	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	6	3					4.67	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5	4					4.56	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	6	3					4.67	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	8	1					4.89	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5	4					4.56	4.62
問1〜14全問平均								4.45	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

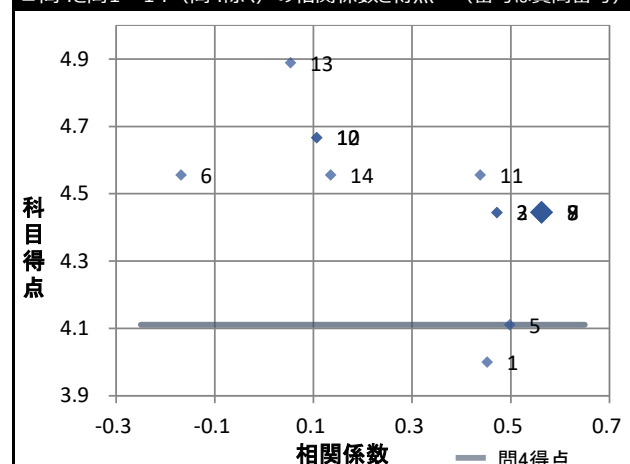


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

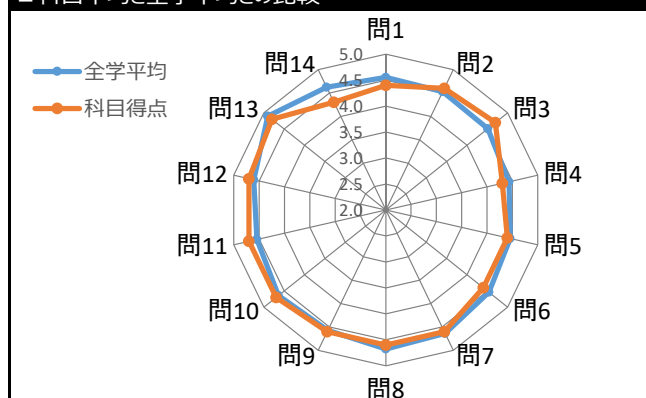
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0025]	学部	さいたま看護学部	履修者数	12	回答率
教員名	渋谷 真樹		授業形態	講義	回答数	10	83.3%

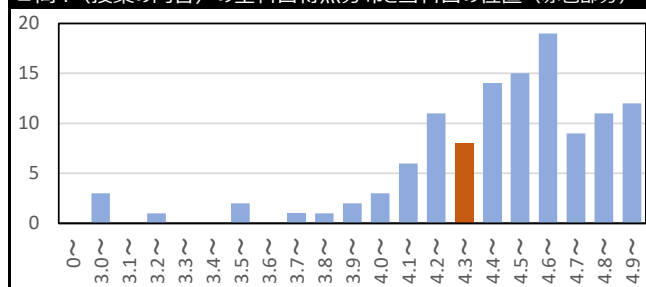
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4		6				4.40	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6		4				4.60	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7		3				4.70	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	3		7				4.30	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	4		6				4.40	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	4		6				4.40	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6		4				4.60	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6		4				4.60	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	6		4				4.60	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	7		3				4.70	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	7		3				4.70	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	7		3				4.70	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	8		2				4.80	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4		5		1		4.30	4.62
問1〜14全問平均								4.56	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

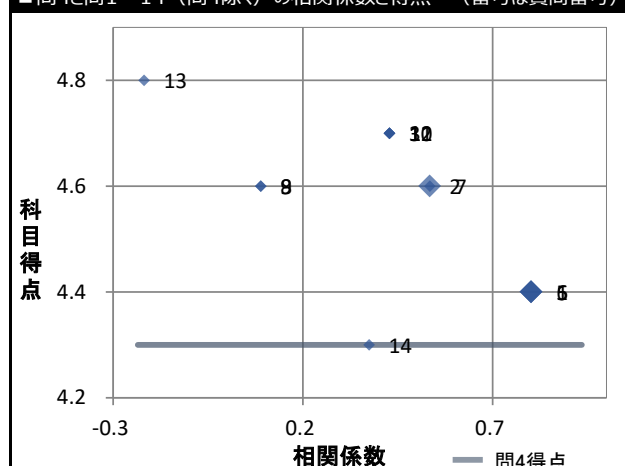


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

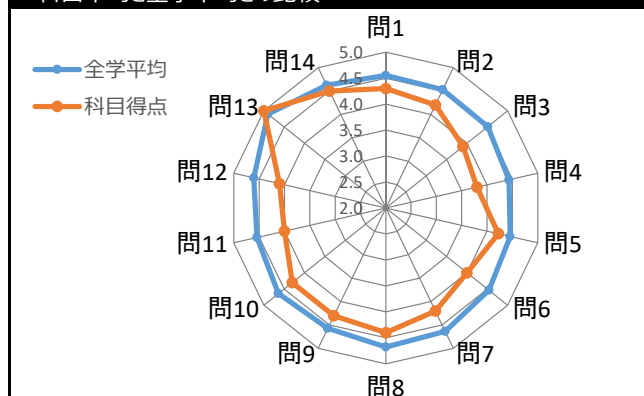
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0026]	学部	さいたま看護学部	履修者数	10	回答率	
教員名	逸見 功		授業形態	講義	回答数	10	100.0%	

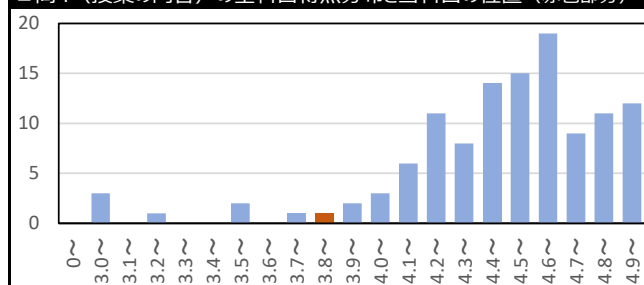
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5	4	1				4.30	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4	5	1				4.20	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3	4	2	1			3.90	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	2	4	4				3.80	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3	5	1	1			4.22	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	4	4	1	1			4.00	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4	4	2				4.20	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6	3	1				4.40	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	5	3	2				4.30	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	4	5	1				4.30	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4	3	2	1			4.00	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	4	4	1	1			4.10	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	10						5.00	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6	3	1				4.50	4.62
問1〜14全問平均								4.23	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

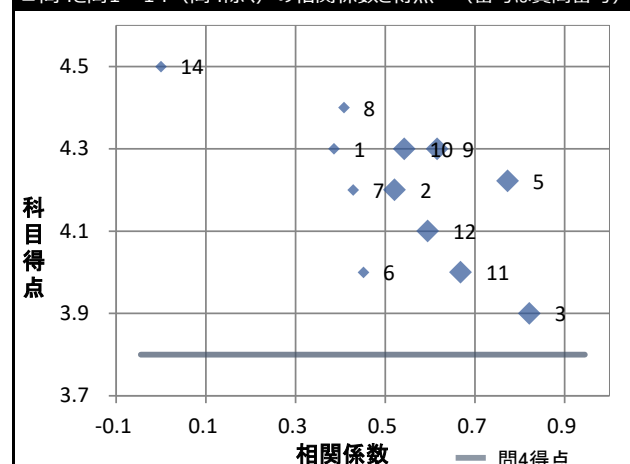


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0027]	学部	さいたま看護学部	履修者数	10	回答率	
教員名	佐藤 眞		授業形態	講義	回答数	10	100.0%	

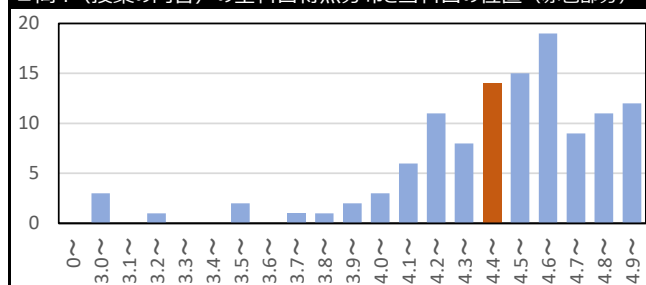
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	6				4		4.60	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5		4		1		4.40	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7			3			4.70	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	6		2		2		4.40	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5		3		2		4.30	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	6			4			4.60	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6			4			4.60	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7		2		1		4.60	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	8			1	1		4.70	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	8			2			4.80	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	7			3			4.70	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	7			3			4.70	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	9				1		4.90	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8				2		4.80	4.62
問1〜14全問平均								4.63	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

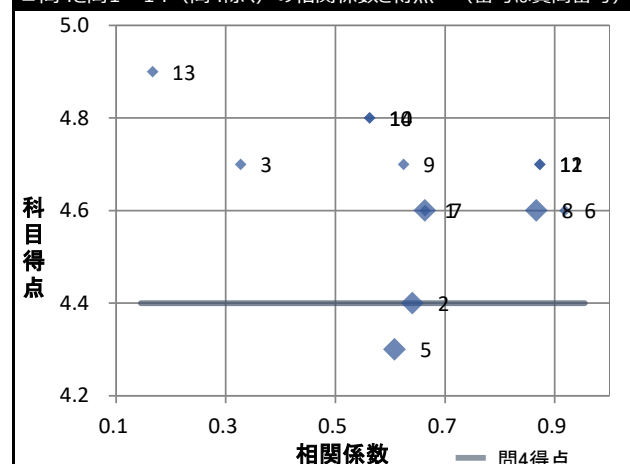


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■ 問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

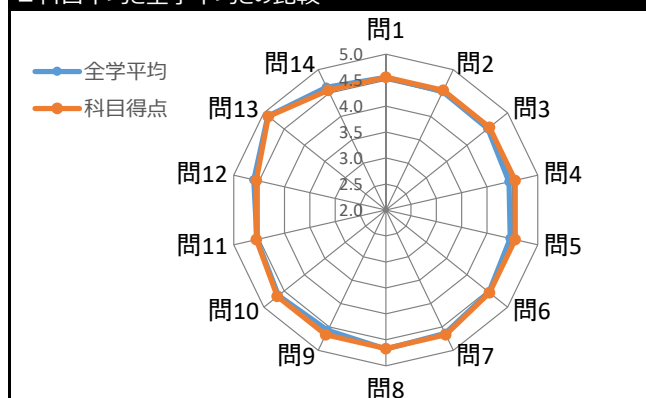
2021年度後期

科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0028]	学部	さいたま看護学部	履修者数	11	回答率
教員名	越後 敬子		授業形態	講義	回答数	9	81.8%

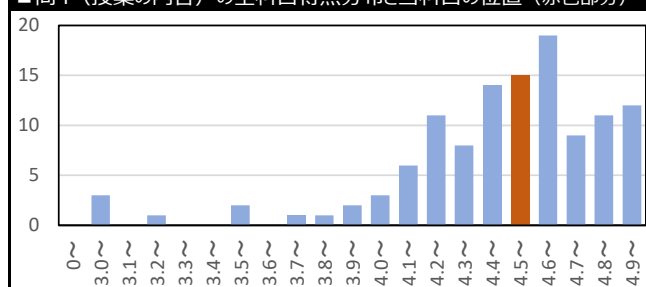
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5				4		4.56	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5				4		4.56	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5				4		4.56	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	5				4		4.56	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5				4		4.56	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	5				4		4.56	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	6				3		4.67	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6				3		4.67	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	6				3		4.67	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	6				3		4.67	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5				4		4.56	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5				4		4.56	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	8				1		4.89	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5				4		4.56	4.62
問1〜14全問平均								4.61	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

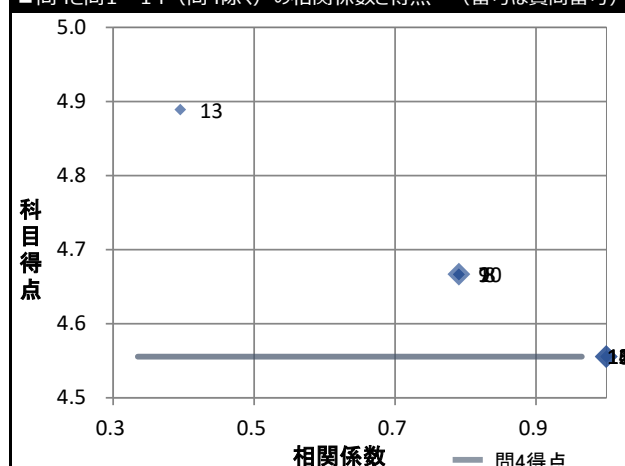


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

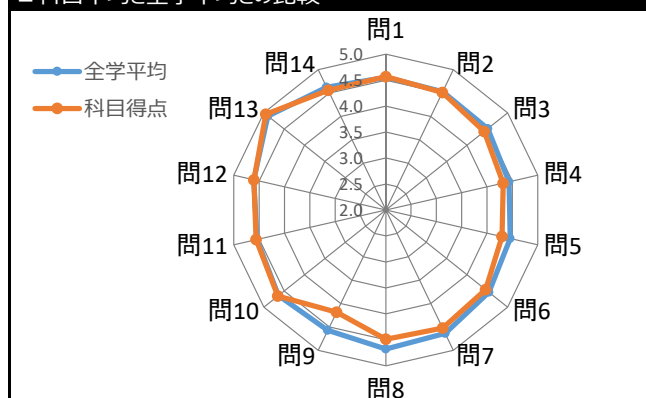
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	人体の構造と機能Ⅲ	[2H0030]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	白井 美穂		授業形態	講義	回答数	88	97.8%

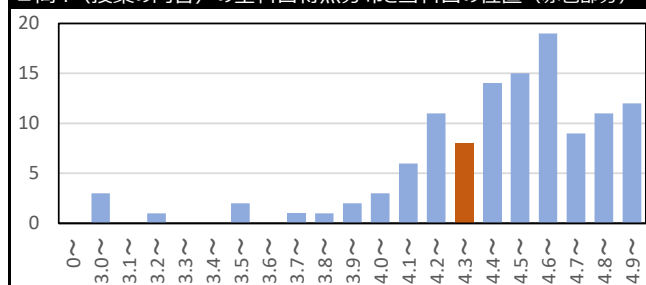
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	55	29	3				4.57	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	51	31	6				4.51	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	47	32	8				4.42	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	42	34	10				4.32	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	41	36	8				4.30	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	48	32	8				4.45	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	54	28	4				4.52	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	54	25	7				4.49	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	39	35	7	5			4.18	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	61	25					4.66	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	53	32					4.56	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	57	28					4.60	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	86						4.95	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	54	30	3				4.56	4.62
問1〜14全問平均								4.51	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

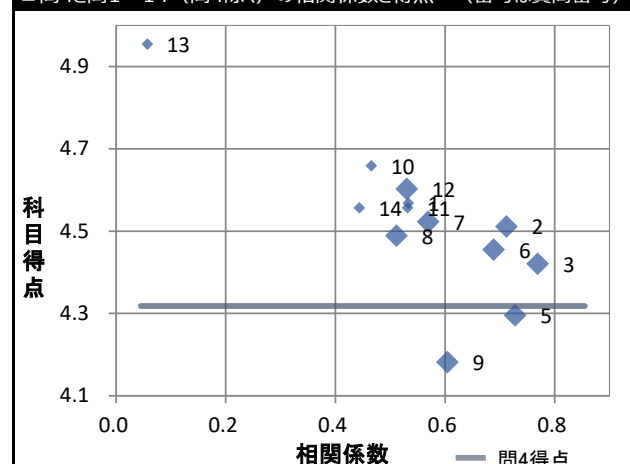


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

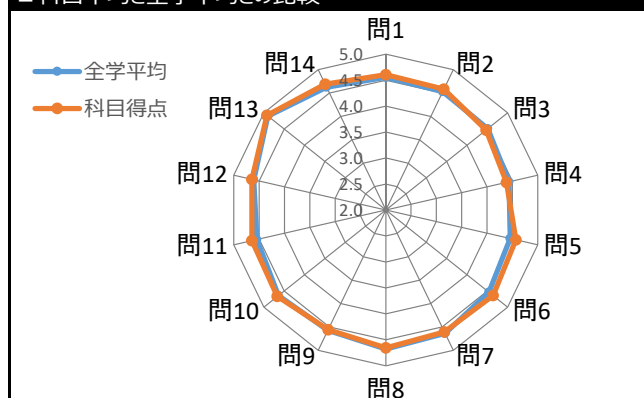
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 I	[2H0040]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	白井 美穂		授業形態	講義	回答数	81	90.0%

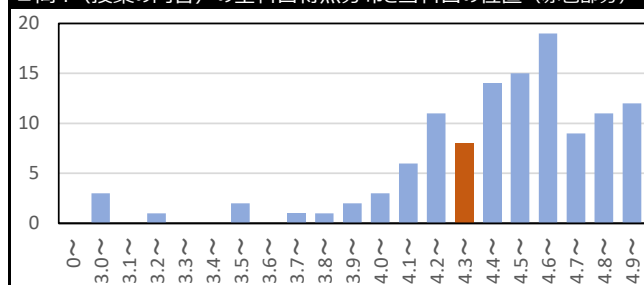
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	50				30		4.60	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	48				32		4.58	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	46				27	8	4.47	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	37			39		4	4.38	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	47				33		4.57	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	52				29		4.64	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	50				30		4.60	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	53				28		4.65	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	50				26	5	4.56	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	56				23		4.67	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	55				23	3	4.64	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	54				25		4.64	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	75					6	4.93	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	56				25		4.69	4.62
問1〜14全問平均								4.62	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

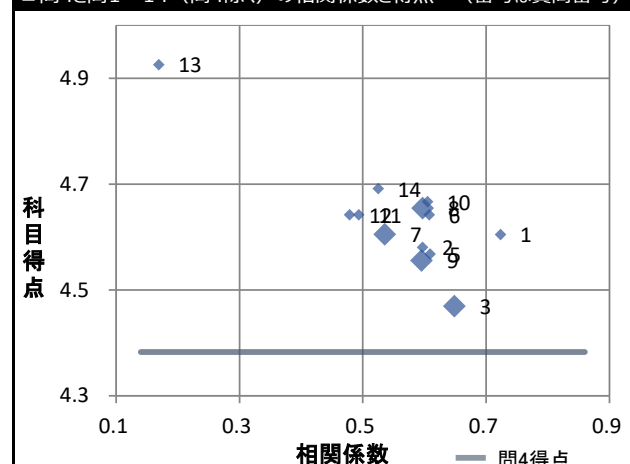


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

2021年度後期

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	[2H0070]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	岡田 彩子		授業形態	講義	回答数	21	23.9%

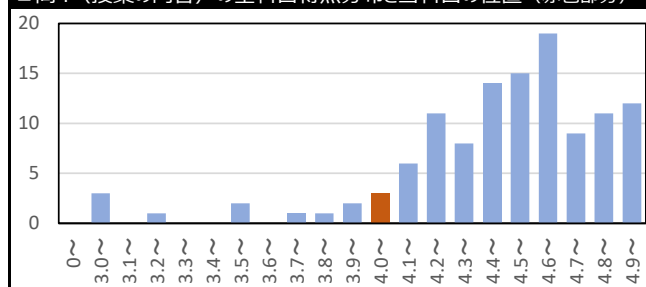
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	9	7	5				4.19	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	10	8	3				4.33	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	10	3				4.24	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	8	7	5	1			4.05	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	12	8	1				4.52	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	14	7					4.67	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	11	7	3				4.38	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	13	7	1				4.57	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	11	5	3	1	1		4.14	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	12	7	2				4.48	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	9	9	3				4.29	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10	11					4.48	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	19	2					4.90	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16	4	1				4.71	4.62
問1〜14全問平均								4.43	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

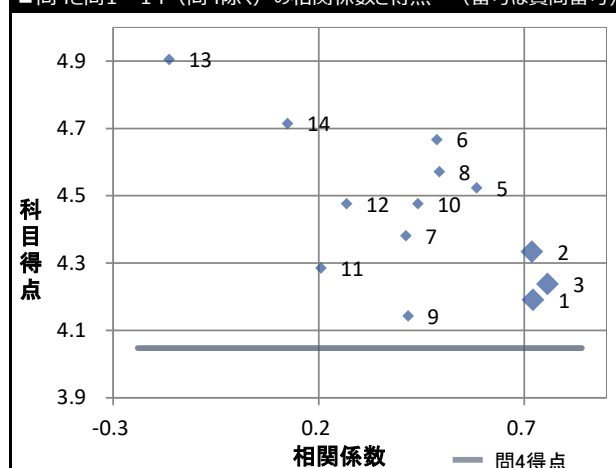


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	薬理学	[2H0100]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	町田 充		授業形態	講義	回答数	77	87.5%

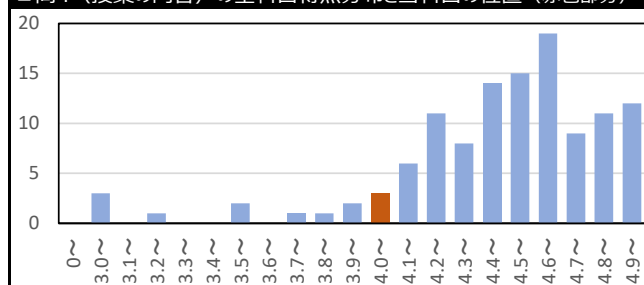
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	34	36	5				4.39	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	35	33	8				4.36	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	30	35	8				4.20	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	24	33	16	4			4.00	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	29	34	10				4.14	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	40	28	9				4.40	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	46	28					4.55	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	50	23					4.64	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	29	28	8	5	6		3.91	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	34	34	6				4.30	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	23	26	21	6			3.87	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	28	27	20				4.08	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	66	8					4.87	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	39	30	6				4.41	4.62
問1~14全問平均								4.29	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

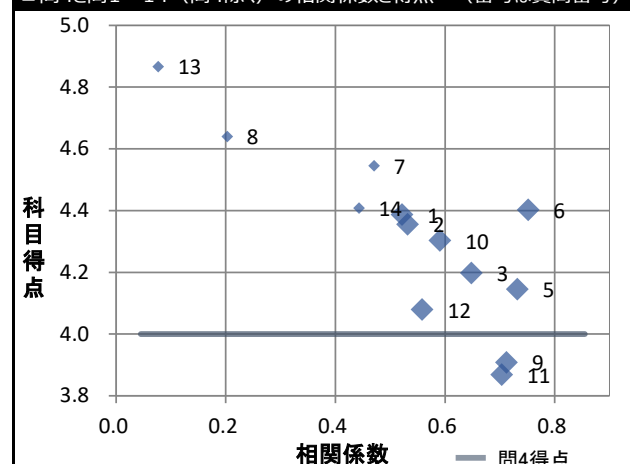


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・3%未満は非表示
- ・科目得点アミガハは科目得点 < 全学平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	疫学	[2H0110]	学部	さいたま看護学部	履修者数	69	回答率
教員名	川崎 洋平		授業形態	講義	回答数	16	23.2%

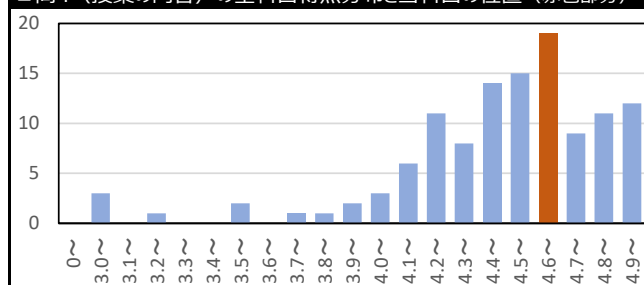
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	10	6					4.63	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	10	6					4.63	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	4	1				4.63	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	11	5					4.69	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	9	5	2				4.44	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	10	6					4.63	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	11	5					4.69	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10	5	1				4.56	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	11	4	1				4.63	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	11	5					4.69	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	11	4	1				4.63	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11	5					4.69	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	14	2					4.88	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11	5					4.69	4.62
問1〜14全問平均								4.65	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

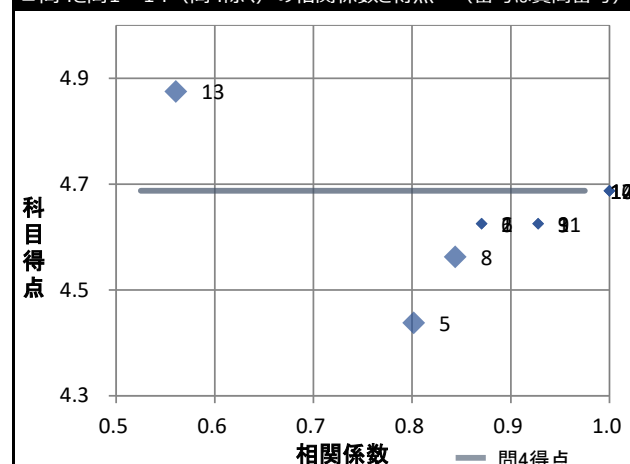


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

2021年度後期

科目名	看護援助論Ⅱ（生命の維持）	[2K0020]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	仁昌寺 貴子		授業形態	講義	回答数	88	97.8%

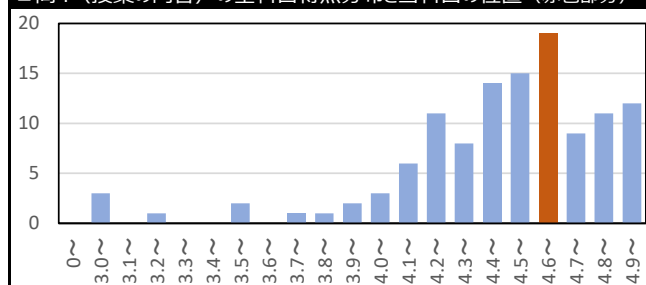
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。					57	30	4.64	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。					59	28	4.66	4.53
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。					51	32	4.51	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。					56	30	4.61	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。					57	30	4.64	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。					60	27	4.67	4.54
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。					59	26	4.64	4.63
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。					65	22	4.73	4.68
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。					62	25	4.69	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。					63	24	4.70	4.64
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。					61	25	4.67	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。					60	25	4.65	4.60
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。					84	4	4.95	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。					63	25	4.72	4.62
問1～14全問平均								4.68	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

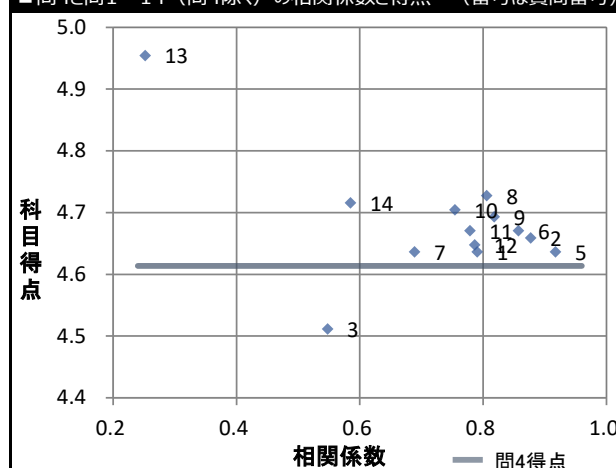


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問4と問1～14（問4除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	コミュニティ演習(講義部分)	[2L0030]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	成木 弘子		授業形態	講義	回答数	84	95.5%

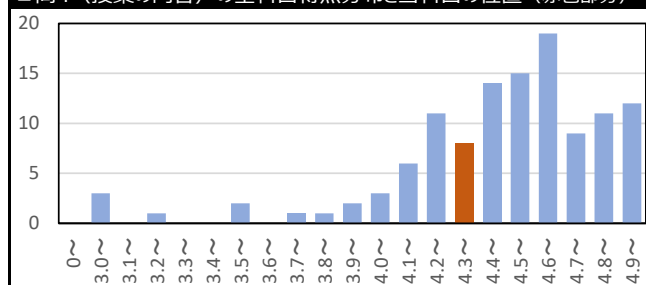
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	45	34	5				4.48	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	47	32	3				4.48	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	49	30	4				4.51	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	44	30	8				4.37	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	46	32	3				4.43	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	51	28	3				4.51	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	53	28	3				4.60	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	57	25					4.65	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	53	23	7				4.52	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	58	20	5				4.61	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	54	22	6				4.52	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	57	22	3				4.58	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	77	6					4.90	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	61	21					4.68	4.62
問1〜14全問平均								4.56	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

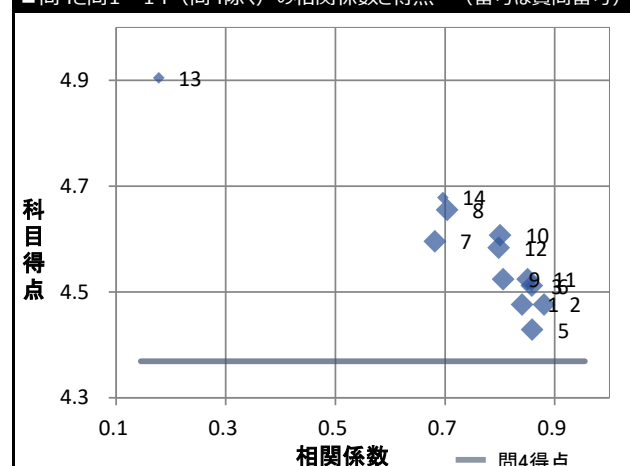


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	コミュニティケア I (地域看護学)	[2L0040]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	成木 弘子		授業形態	講義	回答数	81	90.0%

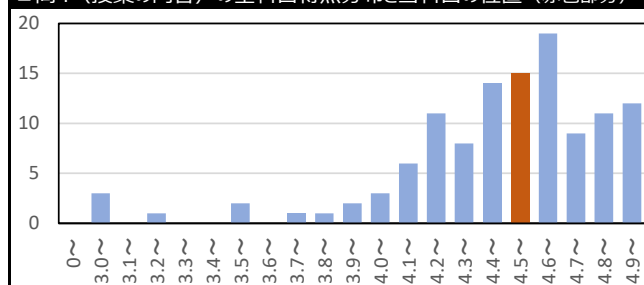
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	53				26		4.63	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	51				28		4.60	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	49				30		4.57	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	45				32		4.50	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	44				32	4	4.50	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	49				27	4	4.56	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	50				28		4.57	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	55				26		4.68	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	50				24	6	4.52	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	53				28		4.65	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	46				33		4.54	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	51				29		4.62	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	74				7		4.91	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	50				30		4.60	4.62
問1~14全問平均								4.60	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

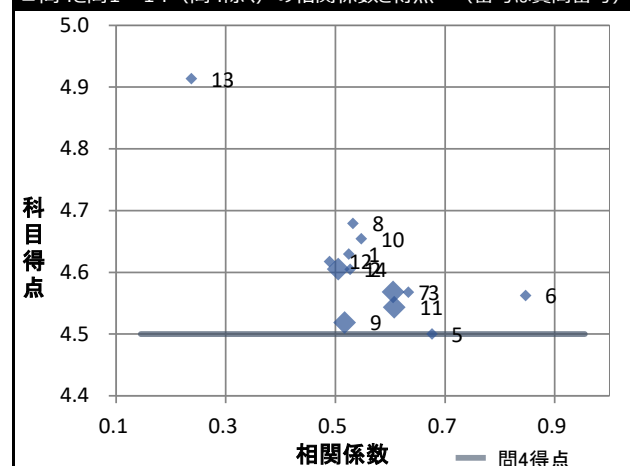


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

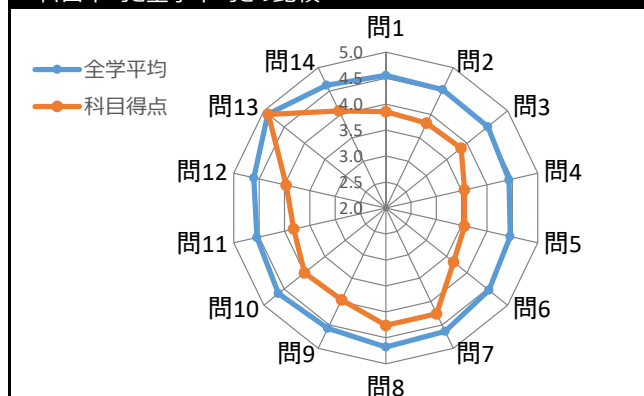
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	コミュニティアクイV(公衆衛生看護活動論)	[2L0070]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	藤川 あや		授業形態	講義	回答数	27	30.7%

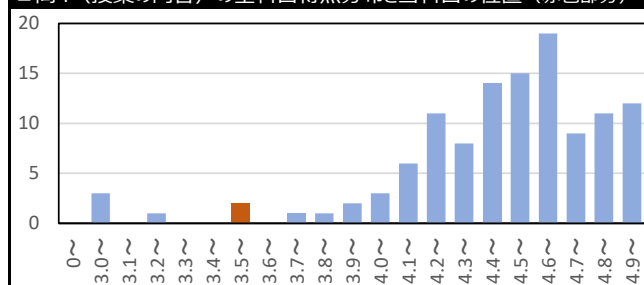
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	8	12	3	3	1		3.85	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9	9	5	3	1		3.81	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10	9	3	4	1		3.85	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	9	8	2	5	3		3.56	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	10	6	4	3	4		3.56	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	10	7	3	5	2		3.67	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	13	9	4	1			4.26	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	12	11	3	1			4.26	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	12	7	4	3	1		3.96	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	11	8	5	3			4.00	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	11	7	3	5	1		3.81	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	10	10	4	2	1		3.96	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	25					11	4.89	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13	8	3	1	2		4.07	4.62
問1~14全問平均								3.97	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

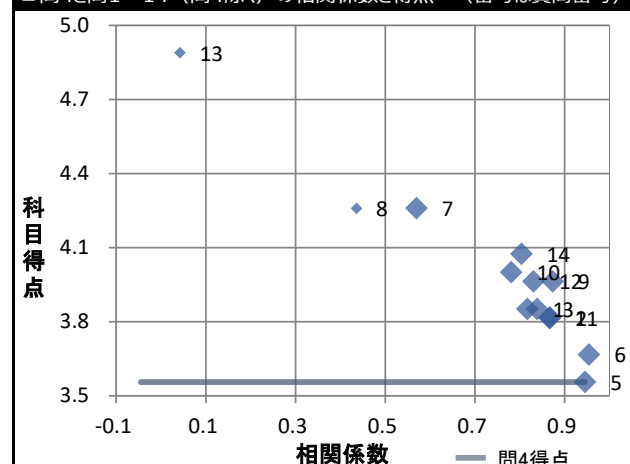


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1~14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

2021年度後期

科目名	発達看護学 I ①	[2N0030]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	喜多 里己		授業形態	講義	回答数	82	93.2%

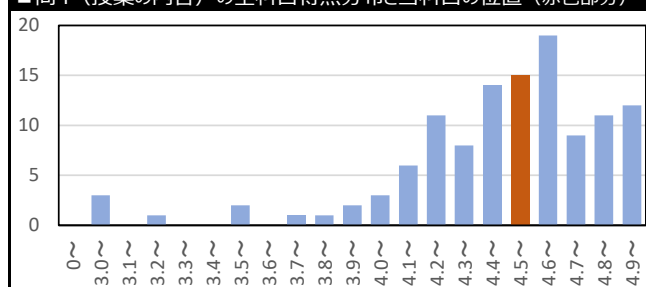
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	59				23		4.72	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	58				24		4.71	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	59				23		4.72	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	52				27	3	4.60	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	55				24	1	4.62	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	61				20		4.72	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	60				21		4.72	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	63				19		4.77	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	60				19	3	4.70	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	64				16		4.76	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	62				18		4.73	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	64				15	3	4.74	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	78				4		4.95	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	67				14		4.80	4.62
問1~14全問平均								4.73	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

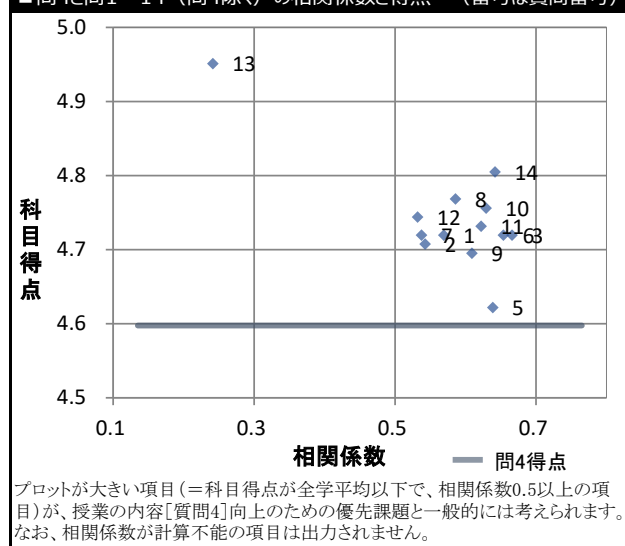


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

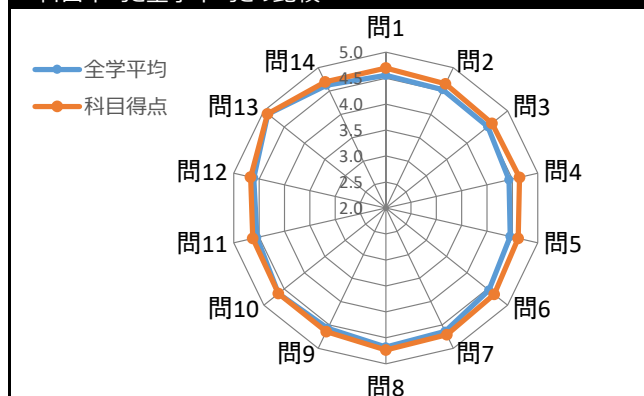
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護①）	[2N0050]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	吉野 純		授業形態	講義	回答数	75	85.2%

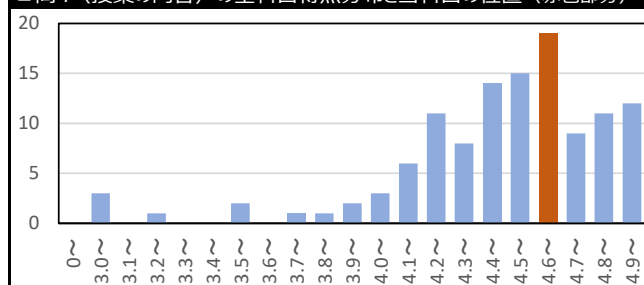
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	53				21		4.69	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	51				22		4.65	4.53
3	教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	50				21	4	4.61	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	51				21	3	4.64	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	50				22		4.61	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	53				20		4.67	4.54
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	54				20		4.71	4.63
8	シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	56				18		4.73	4.68
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	53				18	3	4.64	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	51				21	3	4.64	4.64
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	50				23		4.63	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	52				21		4.67	4.60
13	私の授業への出席率は、（5:9割以上、4:8～7割程度、3:6～5割程度、2:4割程度、1:3割以下）だった。	68				7		4.91	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	55				18		4.69	4.62
問1～14全問平均								4.68	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4（授業の内容）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

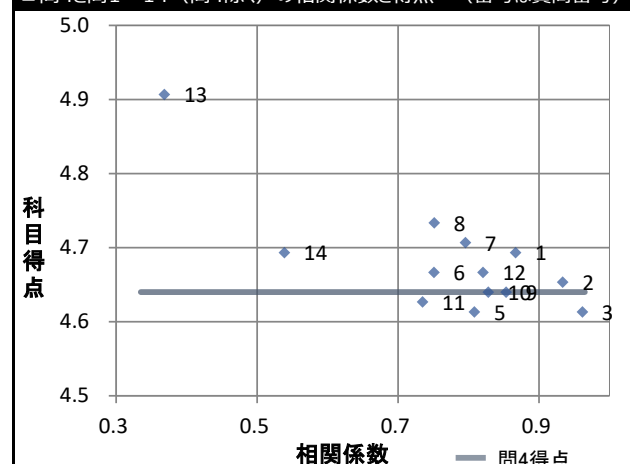


グラフ凡例	配点	問1～12, 14
5	強くそう思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- （3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1～14（問4除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学

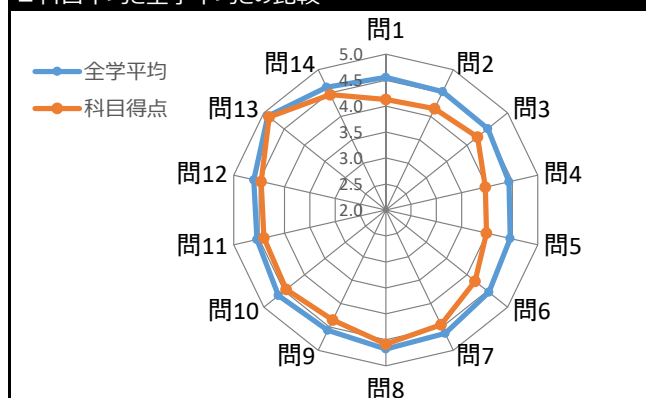
2021年度後期

科目名	発達看護学Ⅲ（老年期の看護①）	[2N0070]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	太田 喜久子		授業形態	講義	回答数	86	97.7%

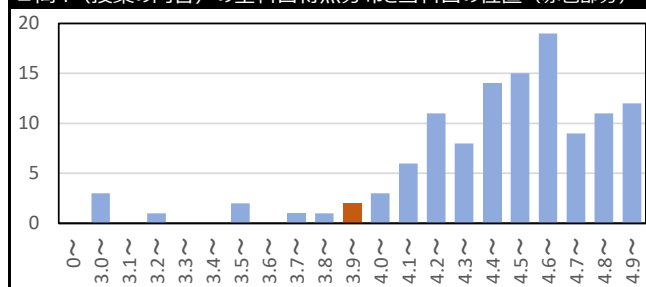
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	33	35	14	4			4.13	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	35	33	16	1			4.16	4.53
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	36	39	8	3			4.26	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	30	34	13	7			3.97	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	30	33	16	6			3.99	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	34	36	15				4.20	4.54
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	47	33	4				4.45	4.63
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	54	28	4				4.58	4.68
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	47	24	13				4.35	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	45	36	4				4.45	4.64
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	44	34	7				4.41	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	46	32	7				4.46	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8〜7割程度、3:6〜5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	75	11					4.87	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	47	32	7				4.47	4.62
問1〜14全問平均								4.34	4.59

■科目平均と全学平均との比較



■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

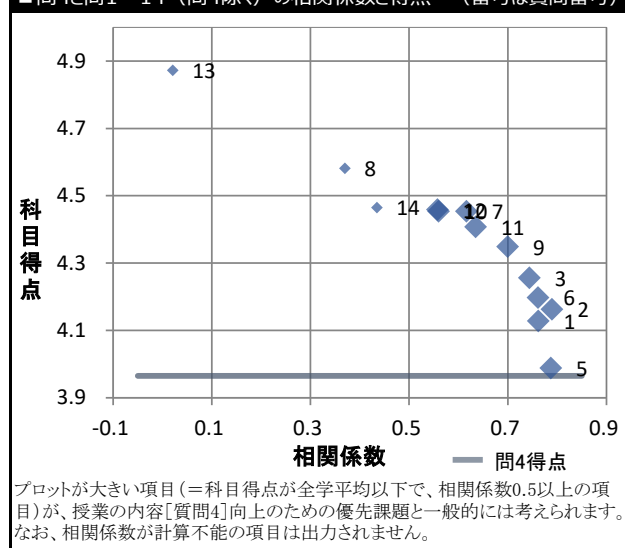


グラフ凡例	配点	問1〜12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全体平均

■問4と問1〜14(問4除く)の相関係数と得点(番号は質問番号)



授業改善アンケート【講義】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	精神保健看護学 I (理論)	[200010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	小宮 敬子		授業形態	講義	回答数	29	33.0%

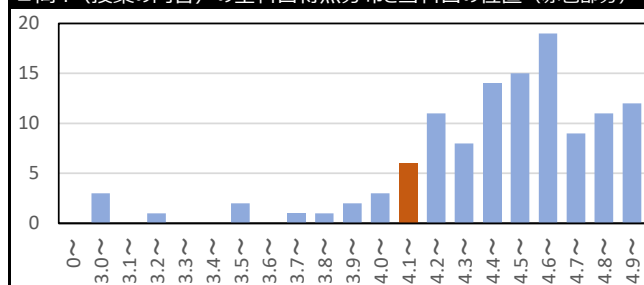
■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	13	12	3	1			4.24	4.55
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	15	9	4	1			4.28	4.53
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。	15	12	1	1			4.34	4.51
4	授業の内容はわかりやすかった。	13	10	3	2	1		4.10	4.43
5	授業の内容は興味のあるものだった。	15	8	3	2	1		4.17	4.46
6	この授業は自分にとって価値があった。	16	9	3	1			4.34	4.54
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	19	9	1				4.55	4.63
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。	21	7	1				4.62	4.68
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	19	9	1				4.55	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	17	9	1	1	1		4.38	4.64
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	16	8	3	1	1		4.28	4.54
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	16	10	2	1			4.38	4.60
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。	25	3	1				4.76	4.90
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	20	7	1	1			4.52	4.62
問1~14全問平均								4.39	4.59

■ 科目平均と全学平均との比較



■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

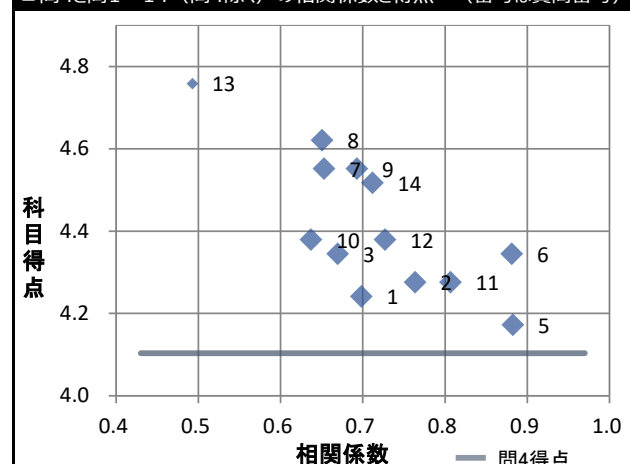


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 < 全学平均

■ 問4と問1~14 (問4除く) の相関係数と得点 (番号は質問番号)



プロットが大きい項目 (= 科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目) が、授業の内容[質問4]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目 コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
2B0020	哲学と倫理	田村未希	回答してくださった学生さんには概ね授業に満足していただけたようで、ホッとしました。「授業の内容は興味のあるものだった」と「教員の熱意が伝わってきた」の項目の点数が高かったのはとても嬉しいことでした。医療現象学の観点から「ケアとはどのような営みなのか」について、一から学んでいただく授業でしたが、テーマや言葉遣いは学生さんにとって馴染みのないものだったと思います。それにもかかわらず、「分かりやすかった」と回答してくださった方が多かったのはとても励まされますし、また、学生さんたちが熱心に授業を受けてくださったことに本当に感謝しています。これから一層理解しやすい授業にしていくために、パワポの文字量を調整したり、具体例をより多く配置したり、また、話し方のスピードや強弱を工夫しようと思いました。
2B0040	臨床心理学	遠藤公久	回答数が1名と少なく、コメントもしにくいところですが、その方の評価は高く良かったと思います。他のかたのご意見を聞きたかったです。
2B0050	教育学概論	渋谷真樹	履修生の発言をくみ取りつつ授業を展開した点など、高評価でうれしいです。ただし、アンケートへの回答率が低かったので、回答しなかった学生がどのように感じたかも含めて、注意深くみていきたいと思います。
2B0070	身体運動理論	白井美穂	大変良い評価をありがとうございました。記述の中で、「日常生活の健康維持に必要なものを多面的にとらえられて良かった」との意見があり、引き続き情報をアップデートしながら授業を進めて行きたいと思います。
2C0010	社会学概論	鷹田佳典	授業改善アンケートへの回答、ありがとうございます。授業の分かりやすさ、内容への興味、価値があったかという回答項目は、平均を下回る結果となりました。次年度はこの結果を踏まえ、より分かりやすい授業を心掛けるとともに、より多くの受講生が興味を持てるよう、取り上げるトピックを再検討したいと思います。自由記述では、「楽しかった」「面白かった」といったコメントをいただき、大きな励みになりました。また、改善点についても貴重なコメントをいただき、ありがとうございます。授業資料の大切なところが分からないというコメントがありましたので、大事な部分を空欄にするなど、工夫をしたいと思います。また、受講生がより発言しやすいように、名簿などを使って指名するなど、こちらも工夫したいと思います。
2C0020	臨床社会学	鷹田佳典	授業改善アンケートへの回答、ありがとうございました。初めて担当する科目で、かつ全て遠隔での実施となりましたが、受講生みなさんが熱心に授業で取り組んでくれたこともあり、深い学びにつながったように思います。なるべく一方的な授業にならないようにグループワークを取り入れましたが、他の人の意見が聞けてよかったというコメントもあって良かったです。対面授業でもグループでディスカッションができるような機会を作っていきたいと思います。
2C0040	日本国憲法	川口かしみ	「回りくどい説明が苦手だった」とありますが、具体的にはどの部分の説明が判断できませんが、具体例をあげて説明していたことが、当該学生にはそのように思ったのでしょうか。数名の方が書いていますが、スライドを工夫して今年度の授業は行いたいと思います。コメントシートの課題はGlexa上にも書きたいと思います。このように、「改善した方がよいと思った点」のみに、コメントをいただいたので、今年度の授業では「この授業でよいと思った点」にもコメントをいただけるように、今回指摘いただいた点に対処して授業を行いたいと思います。

2D0010	数学	岩田光弘	各質問項目の中で「4.わかりやすかった」「5.興味のあるものだった」「6.価値があった」「9.速度が適切であった」という4つの質問が4.26～4.35で他項目と比較して低評価となっており、改善に向けた課題であると考えた。一方改善の困難性として、数学という教科の特性から、最初の生徒の学力・モチベーションに大きな差がみられることが考えられる。授業前にglexaで行ったアンケートによると高等学校で数学Ⅲまで履修している学生がいる一方、数学ⅠAまでの学生も一定数見られた。本科目が2学年への橋渡しを狙いとする性質上、苦手な生徒を大切にしないといけなかったが、5段階評価で「2」をつけていた生徒は実際にその辺りのフォローがうまくできていなかったと考えた。一方毎回取っていた授業内コメントで「ゆっくり過ぎた」という意見があった回もあり、関連して本アンケートのコメント「ゆっくり説明してもらえた」と「早すぎた」という両極の意見からも全体のベースを適正化することの困難性を実感した。そこで改善に向けて「最後のほうは早かった」「はじめてやるものは難しすぎた」という意見を大切にしたい。すべてをゆっくりにするのではなくメリハリをつけ、未習の生徒が多い箇所に関してより丁寧に時間をかけた指導を行っていききたい。また、興味・価値を持たせられるよう、応用的側面にもより着目して内容をブラッシュアップした上で今年度の授業を行っていききたいが、先述した通り本講座は2学年以降の応用的側面に向けた橋渡しのための基礎的側面を重視することが重要であるとも考える。その両側面のバランスを取りながら授業実施していきたい。
2E0010	情報学概論	岡田彩子	1. パワポを見やすくしてほしいというご意見を頂きました。投影用および配布資料で、みやすくなるよう努めます。2. 先生によって、配布資料の作りが異なるので、統一してくださると保管しやすい、というご意見をいただきました。基本的に授業の内容とその資料提供の方法は担当教員の判断で進められます。今後、配布用紙の大きさをそろえるといった工夫していきます。貴重なご意見をありがとうございました。
2E0020	情報科学	逸見功	授業内容がデータ解析の演習なので、前提となる統計学に関する事前学修が不十分な場合、授業が難しく感じたと思います。授業中における学生支援のためアシスタントを配置できれば良いのですが、看護大学の性質上、学内から人員を配置するのは困難です。広尾キャンパスの情報処理室に設置されている学生のPCをモニターして介入するシステムが大宮キャンパスの情報処理室にも導入すれば、改善されと考えます。事後学修課題が多いので、授業時間内で終わる量が適切だとの感想がありましたが、それでは授業中の課題であり事後学修になりません。
2F0010	日本語の表現	越後敬子	敬意表現に関する内容が授業の中心を占めていましたが、そのことについて、もっと復習の機会があればよかったという意見がありました。15回の授業回数の中で、さらに時間をとることは難しいのですが、今後検討したいと思います。
2F0031	英語RWⅡ	川崎修一	過分な評価をありがとうございました。頂いた意見を基に授業改善に取り組みたいと思います。
2F0032	英語RWⅡ	遠藤花子	みなさんにご回答いただいた結果を受け、今後の授業に活かしていきたいと思います。

2F0080	中国語Ⅱ	神谷智幸	アンケートの集計結果とご意見につきまして、担当教員よりコメントを述べたいと思います。まず、本授業の回答率は、18名中16名（88.9%）、得点としては、全14問中5問が全学平均を下回る結果でした。ほぼ全員のご意見と考え、以下、反省点や改善点を確認したいと思います。全学平均の得点を下回った5つの質問は、それぞれ「シラバスに沿った授業が行われていた」「授業の進行速度は適切だった」「教員の熱意が伝わってきた」「私の授業への出席率」「私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ」でした。得点としてはわずかに平均に届かなかった項目もあり、全問平均は全学の平均より高い得点となりました。特に意見が割れた問題は、「授業の進行速度」についてであり、個別のコメントとしては「一度に多くやろうとせず、やる量を減らしてもよいと思う」、一方では、「前期よりもスピードがちょうどよく楽しかった」というご意見がありました。担当教員の個人的な意見（言い訳）としては、「中国語Ⅱ」を選択した方々は結果として1年間中国語を学習したことになり、学び終えたが何も残らないという事態だけは避けたく、中国語のエッセンスを伝えることを重視しておりました。授業の良い点のコメントとして、「小テスト」（2名）、「会話練習」（1名）が良かったというコメントがあり、その他、「（夏季休暇課題の）本の紹介が良かった」というコメントがありました。「進捗」に関しては、今後は（後任者にバトンを渡しましたが）、はじめについてきちんと説明し、共通の認識を得るなど改善が必要かと思います。もう1件、「オンラインの時も対面授業と同じような授業形態で行なってほしい」というご意見が寄せられました。「中国語Ⅱ」の授業（毎回の小テストや会話練習）はオンラインで「同じように」行うことが特に難しく、対応が不十分だったかと思います。この点も改善が必要かと思います。最後に、「中国語?」の授業が円滑に進むよう、毎週ご協力くださり、熱心に取り組んでくださったことに心から感謝申し上げます。授業がみなさんの人生でどのように「役に立つ」かは分かりませんが、自分とは異なる「価値観」をもつ他者に関心を寄せ、認め、尊重していただけたら、一緒に学んだ時間は無駄ではなかったと思います。中国語についても、基礎を学びましたので、それぞれの興味や時機に応じて、長い付き合いをしていただけたら幸いです。
2F0100	韓国語Ⅱ	高昌弘	【授業で良いと思った点】 ・定期テストではなく毎回の小テストで良かったです。・カンナさんの映画面白かったです。・先生大好き。分かりやすく聞き取りやすい。・韓ドラ見ててわからなかった文化があったけど、ワカメスープを誕生日に飲んだり、お酒を飲む時に顔をそらしたりする意味を知ってドラマをさらに楽しめるようになりました。・楽で楽しかったです。・授業も映画も面白かった。・私は韓国が好きなので、言葉を学べて嬉しかったです。 【授業で改善した方がよいと思う点】・単語の読み方をカタカナで書いてもらえるとありがたかったです。 （高）：小テストを毎回授業が終わる前にやっている理由は、他の大学で色々やってみましたが、学んだことをその場で覚え、ちゃんと覚えているかどうかを確かめた方がよいと思ったからです。語学の勉強って教科書以外でも学べる材料はたくさんあります。教科書だと教えるために作られた物なので自然ではない内容や表現が使われることもあるのですが、映画やドラマを見ることで生の韓国語が聴ける、なかなか教科書では学べない表現を身に付けることができるので韓国映画をお見せしています。授業では語学のことだけではなく、韓国の文化など、韓国について話をさせていただいたのですが、皆さんの反応も良く、興味深く聞いてくれた学生が多かったのでとても嬉しかったです。全く韓国語がわからなかった皆さんがすらすら韓国語が読めるようになった姿を見てて教え甲斐を感じたというか非常に嬉しかったです。残念ながら韓国語Ⅰ・Ⅱの上の授業はありませんが、せっかく1年間頑張って韓国語を勉強したのでこれからもK-POPや韓国ドラマなど自分の興味のあるところを通じて韓国語の勉強を続けてほしいです。カムサハムニダ〜！
2G0021	基礎ゼミⅡ	遠藤公久	全体的評価も高いものでした。そのなかで、授業時間を超えて（授業以外の時間も利用して）データ入力などしてもらっていることから、その点について不満な学生もいたようですが、これはデータをとっての実習ですので、致し方なく、ご理解いただければと思います。

2G0022	基礎ゼミⅡ	鷹田佳典	授業改善アンケートへの回答、ありがとうございました。今年度は「平成」をテーマに、前半は平成の年表づくり、後半はみんなで考えたテーマについて討論を行うという内容でしたが、受講生みなさんがとても主体的に授業に取り組んでくれたおかげで、どの回も非常に密度の濃い内容でした。私も授業を通して新しい「平成」の姿を知ることができました。次年度以降も楽しく学べるような授業にしていきたいと思います。
2G0023	基礎ゼミⅡ	白井美穂	良い評価をありがとうございました。ご意見の中で「レポートについて、詳しくアドバイスをもらえた、書き方や考えの深め方を学ぶことができた」とのご意見を頂き、今後も引き続きサポートを行っていききたいと思います。
2G0024	基礎ゼミⅡ	角田敦彦	本科目は、学生が自ら課題を設定し、探求、意見交換により理解を深めていくことを目的としています。したがって配布物等への評価はそれなりのものになりましたが、学生にとって価値あるものであるとの評価につながったものと考えます。今後は、ゼミの到達目標や、進め方についてより丁寧に説明し、双方にとって満足度の高いゼミにしていきたいと思います。
2G0025	基礎ゼミⅡ	渋谷 真樹	テーマや課題、説明の仕方などには一定の評価がえられました。前の方を含めて、グループごとに座るなど、着席についてのご意見を参考に、よりよい授業にしていきたいと思います。
2G0026	基礎ゼミⅡ	逸見功	課題目的の理解を確認して進めたいと思います。最終発表について早めに知らせるようにします。
2G0027	基礎ゼミⅡ	佐藤眞	・学生みなさんが熱心に取り組んでくれたことに感謝します。・みなさんのコメントから「発表に慣れる」という目標が、発表資料を作ることと、発表がうまくできるようになる、という両面においてほぼ達成されたようで、うれしく思います。・「毎回全員に感想を聞いた方がよい」というコメントをもらいました。時間の心配があり、全員には聞きませんでした。「ほかに感想はありませんか」と聞いたつもりですが、最初の何回かだけでも全員に答えてもらった方が良かったかもしれませんね。
2G0028	基礎ゼミⅡ	越後敬子	日本や世界で起きている差別問題について、各自でテーマを設定し、真摯に取り組んでいました。受講生はみな遠慮深く、ほかのゼミ生の発表について活発な意見交換はできませんでしたが、今後は意見を言い合える雰囲気作りにも配慮したいと思います。
2H0070	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	岡田彩子	・遠隔の声が小さく内容が伝わってこない講義があったというご意見を頂きました。遠隔授業の場合は、あらかじめ音量の確認をしてから講義を始めるようにしていましたが、講義の途中でもチャット機能を使って、サポート教員にその旨を知らせていただけると、こちらでも対応ができます。ご協力お願い致します。・なるべくパワボがあった方がわかりやすい、ない場合は早めに教えてほしいとのご意見を頂きました。授業の参考資料は準備できるように努めますが、シラバスに記載してありますように、あくまで補助的なものと考えて、授業の準備を進めてください。貴重なご意見をありがとうございました。
2H0100	薬理学	町田充	「授業改善アンケート」ありがとうございました。非常に参考になりました。学生さんからの意見では、・1回で進む量が多い・少ない授業枠の割には量が多過ぎる。・授業が早すぎる。・急ぎで講義しすぎ。・その他、同様な意見が多数あり。8コマの枠内で「薬理学テキスト」のすべてを講義するのは非常に無理があることが理解できました。今後の検討課題としては（改善策）・テキスト凡ての講義ではなく、過去の国家試験問題から出題比率が多いカテゴリ（章）をピックアップして講義を選別する。・8コマの枠の拡大を検討する。早急に対応できる策ではありませんが、課題とさせていただきます。
2H0110	疫学	川崎洋平	過去問に触れて授業を展開した点に評価をいただきました。次年度以降も過去問や興味のある内容を盛り込み授業を行いたいと考えております。

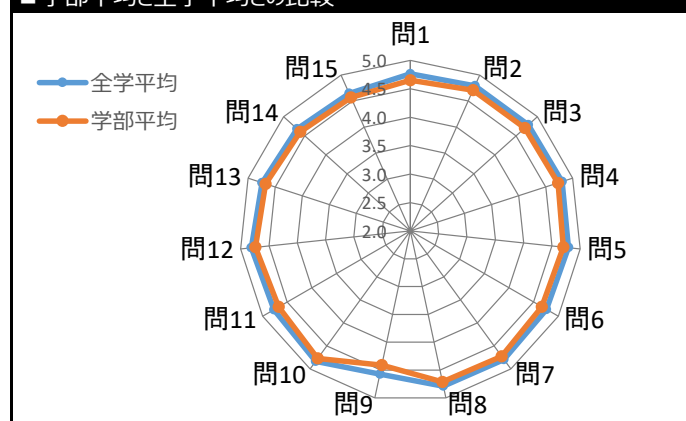
2K0020	看護援助論Ⅱ（生命の維持）	仁昌寺貴子	授業評価アンケートへのご協力ありがとうございました。この授業では、グループワークを多く取り入れましたが、ワーク時のみなさんの感染予防対策への協力があったからこそ実現できたと思っています。グループワークでは、看護ケアについて検討しますが、みなさんにとって、このようなテーマをディスカッションする機会が、1年生前期の授業ではあまりなかったようで、関心をもって取り組まれていた様子が見受けられました。アンケート結果の良かった点では、「グループワークで毎回意見交換ができて、様々な考えが知れた」「GWで他のグループがどのように考えたのかを発表やプリントで知れたのが良かった」などのコメントがありました。意見を共有し視野が広がった様子や、ディスカッションをとおして、より考えを深化させることができていたことが伝わってきました。改善点としては、「グループワークで何を話すとよいかわからなかった」といったコメントがありました。ワークの始めの段階では、テーマを示すなどの工夫も取り入れていこうと思います。
2L0030	コミュニティ演習（講義部分）	成木弘子	授業改善アンケートへの回答をいただきありがとうございます。この評価の部分は、コミュニティ演習15回の中で外来講師の講義4回の部分となります。評価項目全てが4.2以上、3項目は全体の平均以上という状況でした。自由記載欄で「いろいろな活動を当事者の方から聞くことができて良かった」という意見が複数ありました。また、改善して欲しい点として「事後課題の提出が当日だったのが大変だった」という意見が複数あり、次年度はゆとりをもった期限の設定に改善したいと考えています。自由記載欄に他の科目に関する事柄が複数記載されていましたが、回答は当該科目にしてくださいようお願いいたします。
2L0040	コミュニティケアⅠ（地域看護学）	成木弘子	授業改善アンケートへの回答をいただきありがとうございます。質問項目14項目中11項目が全学平均以上でした。この科目は当学部独特のもので教える内容を手探りで考えながら取り組んでいますが、来年度以降もより充実した内容になるよう創意工夫を重ねていきたいと存じます。自由回答欄の「改善したほうが良い」点に「事後課題の提出が当日23時59分だったので時間がなく大変だった」という意見が複数あったので、次年度は学生のみなさまの状況を踏まえながら提出期限はゆとりをもたせるようにしたいと存じます。「資料（パワポ）の量が多くてポイントが絞れない」という意見も複数ありました。焦点を絞って分かりやすい資料の作成に努めたいと存じます。
2L0070	コミュニティケアⅣ（公衆衛生看護活動論）	藤川あや	講義に関する貴重なご意見を頂きましてありがとうございました。事前事後学修の課題が多いという意見が多かったので、内容と提出締め切り日を検討いたします。また、効果的なグループワークの方法を検討し学生の皆様の学びにつながるように適切に対応いたします。
2N0030	発達看護学Ⅰ①	喜多里己	TBLについて好評をいただき、ありがとうございました。改善点について、TBLの学習範囲を早めに伝えること、GWの机移動の大変さの解消することについて、発達Ⅰ②TBLにむけて工夫していきます。
2N0050	発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護①）	吉野純	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございます。具体的な内容で理解が進んだ、グループワークが楽しかったなどのご意見の一方で、グループワークや授業の進め方、また教員の話し方へのご批判等貴重なご意見をいただきました。事前のアナウンスやグループワークの内容について学びが深められるよう改善に向けて検討していきたいと思います。
2N0070	発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)	太田喜久子	授業改善アンケートに熱心に答えていただき、どうもありがとうございました。授業内容をさらにわかりやすく伝えられるよう、工夫をしていこうと思います。頂いたご意見を参考にさせていただき、今後の授業の改善に活かしていこうと思います。
2O0010	精神保健看護学Ⅰ（理論）	小宮敬子	授業評価アンケートへの記載にご協力いただき、ありがとうございました。最後の授業が遠隔になってしまったので、授業時間内に実施できなくなったことが残念でした。学生の皆さんが、事前事後課題に取り組み、意欲的に授業に参加していた様子が伝わってきました。リフレクションシートの記載ですが、授業中は、講義に参加することに集中してほしいので、事後に書いていただきたいと思います。覚えている内容に関してだけで十分です。精神の健康は、だれにとっても一生の課題ですので、ここで学んだことをこれからも活かしてください。

学 部	さいたま看護学部	履修者数	484	回答率	79.8%
		回答数	386		

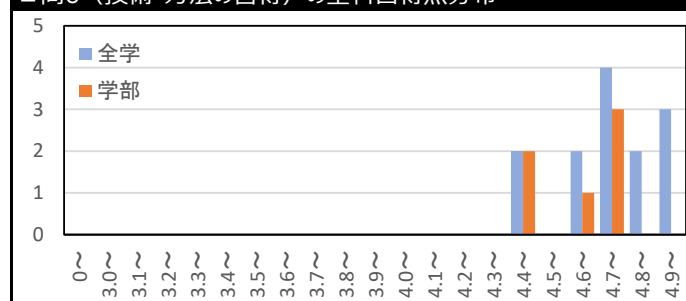
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	265	108					4.65	4.76
2	演習でを使用した物品・モデル等は適切だった。	280	86					4.71	4.79
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	281	94					4.71	4.79
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	282	89					4.73	4.80
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	285	90					4.70	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	271	95	15				4.66	4.76
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	295	79					4.72	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	291	83					4.71	4.79
9	演習の時間配分は適切だった。	234	100	31	18			4.41	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	306	72					4.77	4.83
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	277	94	12				4.67	4.77
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	296	83					4.74	4.81
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	284	86					4.68	4.74
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	262	98	22				4.61	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	246	104	22				4.57	4.65
問1～15全問平均								4.67	4.76

■学部平均と全学平均との比較



■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布

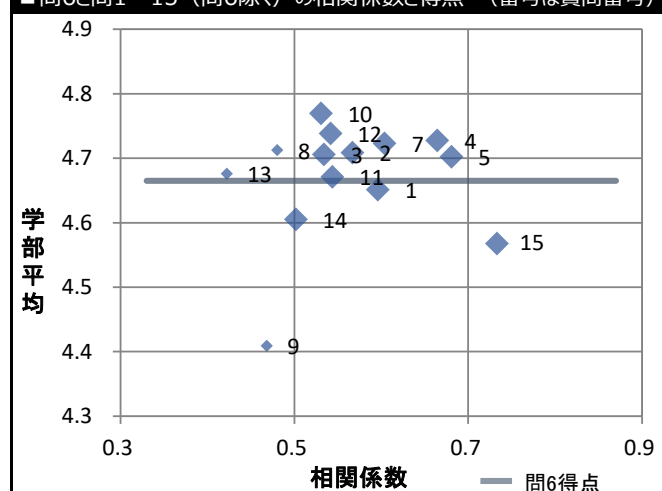


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- （3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝学部平均が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得〔質問6〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

日本赤十字看護大学

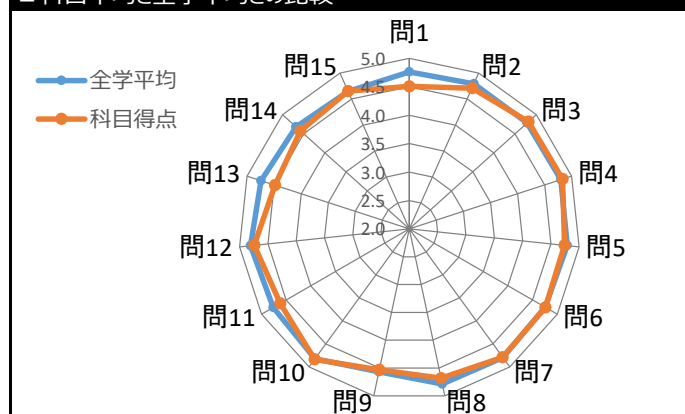
2021年度後期

科目名	身体運動実技 [2B0080]	学部	さいたま看護学部	履修者数	78	回答率	
教員名	白井 美穂	授業形態	演習	回答数	66	84.6%	

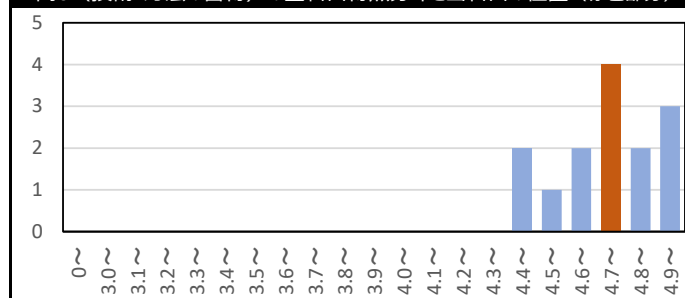
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	39			22	3		4.51	4.76
2	演習でを使用した物品・モデル等は適切だった。	49			15	2		4.71	4.79
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	54			12			4.82	4.78
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	55			11			4.83	4.80
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	50			15			4.74	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	50			16			4.76	4.76
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	52			14			4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	49			15	2		4.68	4.79
9	演習の時間配分は適切だった。	43			18	2	3	4.53	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	55			11			4.83	4.82
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	45			18	2		4.62	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	49			17			4.74	4.81
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	43			16	4	2	4.48	4.74
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	45			15	5		4.58	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	45			19	2		4.65	4.65
問1～15全問平均								4.69	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

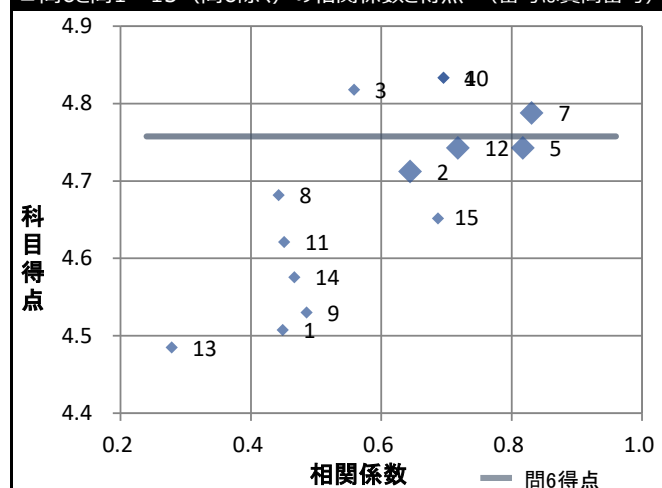


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- （3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得〔質問6〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

日本赤十字看護大学

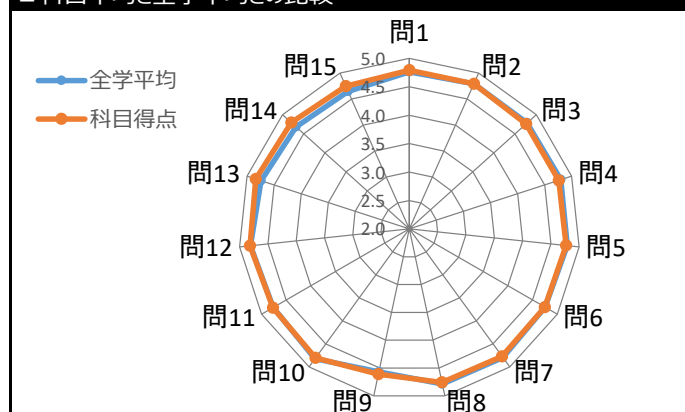
2021年度後期

科目名	看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）	[2J0020]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	中村 滋子		授業形態	演習	回答数	87	96.7%

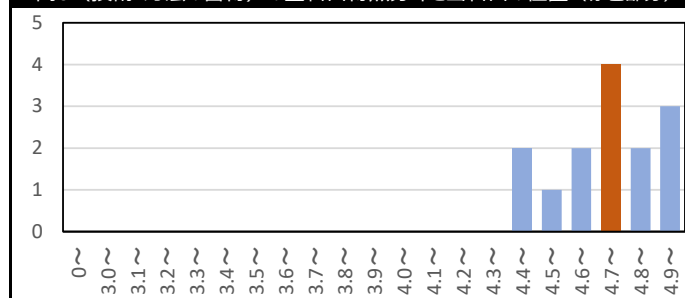
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<							

■科目平均と全学平均との比較



■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

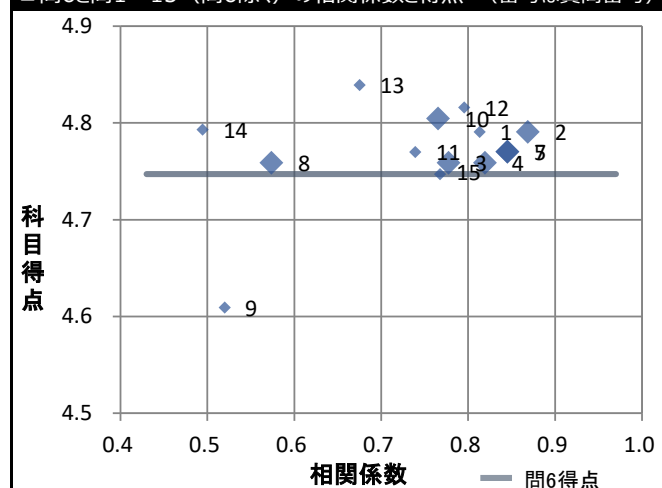


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- （3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

日本赤十字看護大学

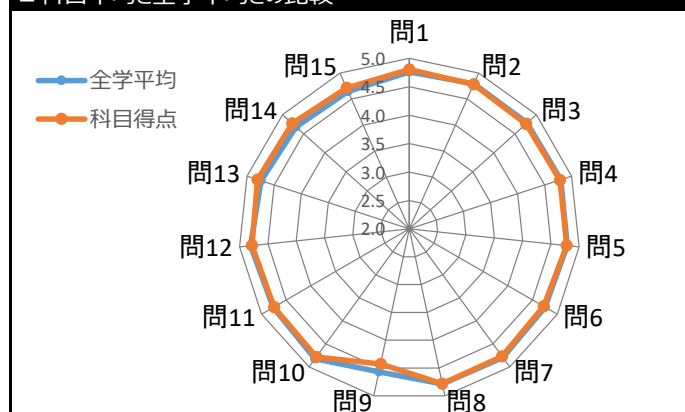
2021年度後期

科目名	看護技術論Ⅲ（基礎看護技術②）	[2J0050]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	殿城 友紀		授業形態	演習	回答数	87	96.7%

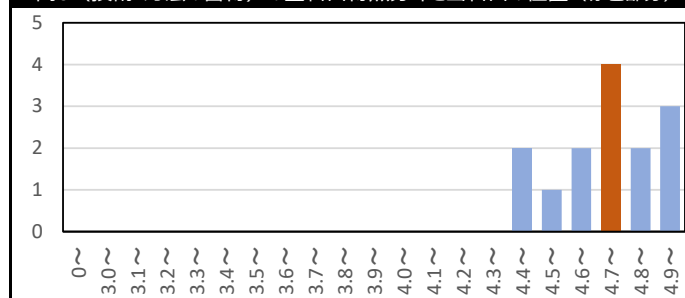
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	<							

■科目平均と全学平均との比較



■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

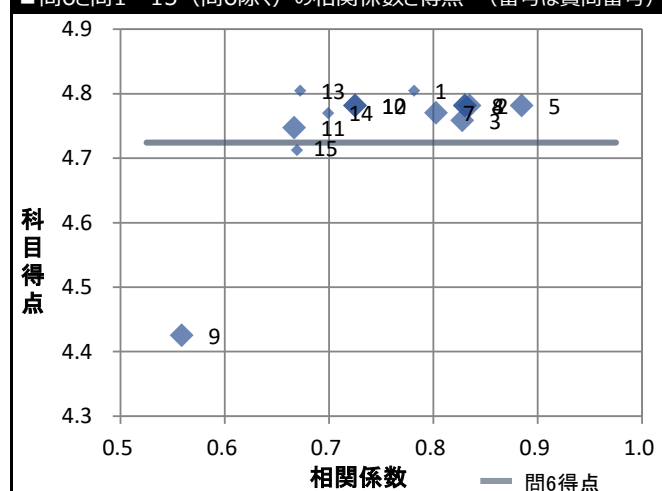


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- （3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



授業改善アンケート【演習】科目別集計

日本赤十字看護大学

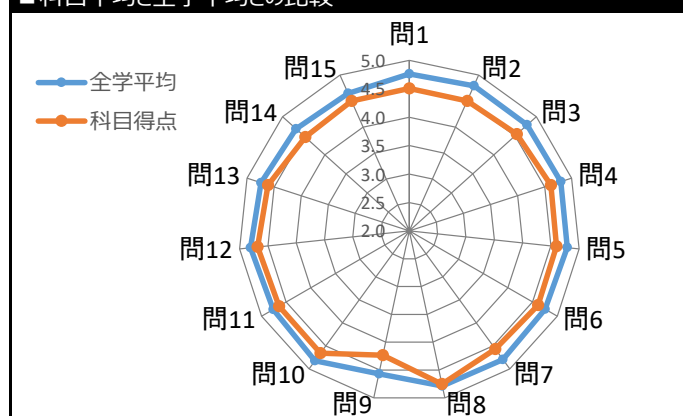
2021年度後期

科目名	コミュニティ演習 (GW・フィールドワーク等部分)	[2L0030]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率	
教員名	成木 弘子		授業形態	演習	回答数	85	96.6%	

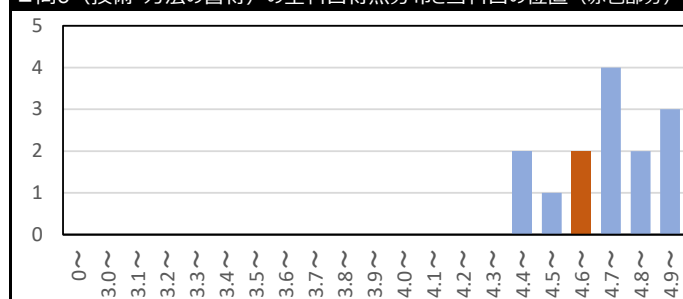
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	50	30	3				4.51	4.76
2	演習で使った物品・モデル等は適切だった。	47	25	4	6			4.50	4.79
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	51	27	4				4.54	4.78
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	52	22	4	6			4.62	4.80
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	60	19	4				4.60	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	57	19	5	3			4.61	4.76
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	60	17	5				4.56	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	65	19					4.75	4.79
9	演習の時間配分は適切だった。	47	21	10	4	3		4.24	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	62	18	4				4.66	4.82
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	60	21	3				4.65	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	63	19					4.68	4.81
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	60	20	3				4.61	4.74
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	52	22	8				4.46	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	47	23	8	5			4.50	4.65
問1～15全問平均								4.57	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

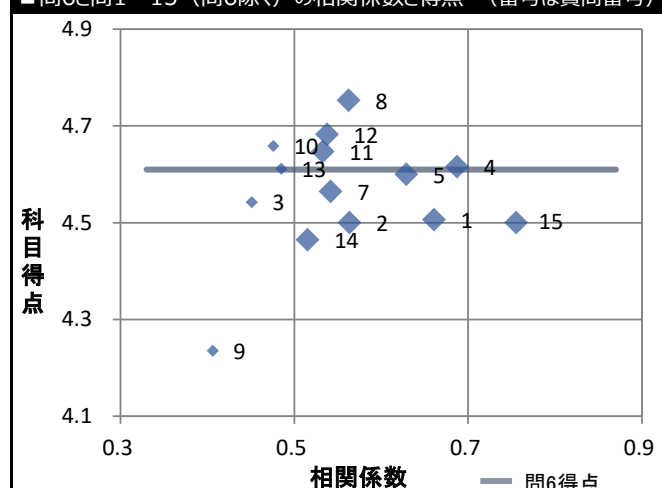


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- ・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目(=科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目)が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

日本赤十字看護大学

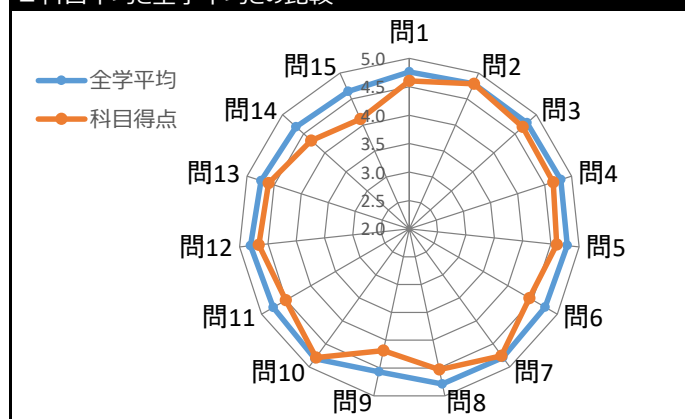
2021年度後期

科目名	災害看護活動論 I	[2P0040]	学部	さいたま看護学部	履修者数	69	回答率
教員名	織方 愛		授業形態	演習	回答数	53	76.8%

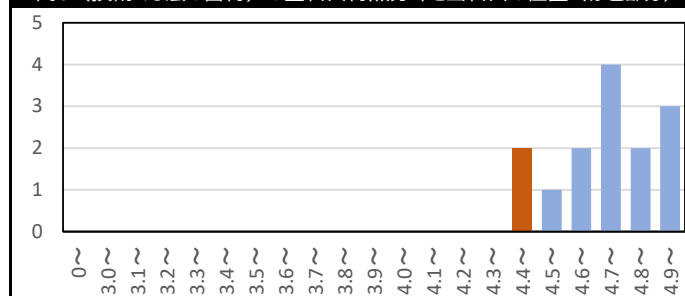
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	32				21		4.60	4.76
2	演習でを使用した物品・モデル等は適切だった。	42				11		4.79	4.79
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	37				15		4.68	4.78
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	36				16		4.66	4.80
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	33				19		4.60	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	29				18	6	4.43	4.76
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	42				9	2	4.75	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	35				12	5	4.53	4.79
9	演習の時間配分は適切だった。	26				16	6	4.19	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	43				9		4.79	4.82
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	33				15	4	4.51	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	39				12		4.66	4.81
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	35				15	3	4.60	4.74
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	25				20	8	4.32	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	21				19	9	4.12	4.65
問1～15全問平均								4.55	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

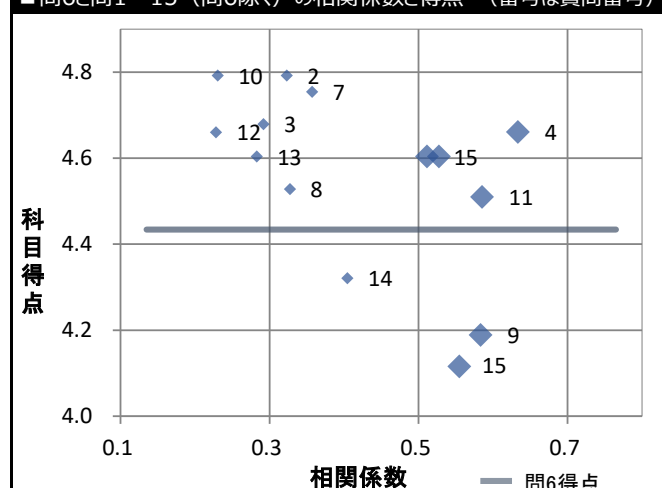


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- （3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得[質問6]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【演習】科目別集計

日本赤十字看護大学

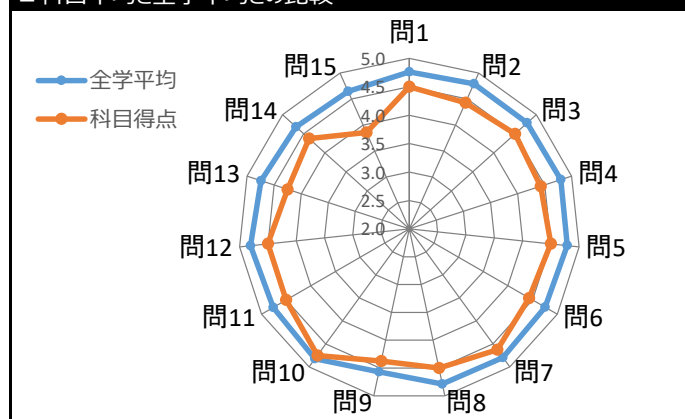
2021年度後期

科目名	災害看護活動論Ⅱ	[2P0050]	学部	さいたま看護学部	履修者数	69	回答率	
教員名	織方 愛		授業形態	演習	回答数	8	11.6%	

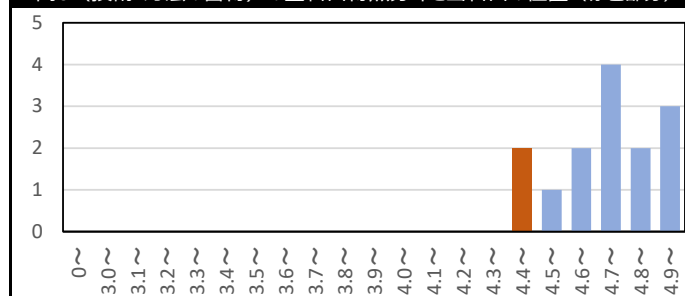
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4				4		4.50	4.76
2	演習でを使用した物品・モデル等は適切だった。	3		4		1		4.43	4.79
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	4			4			4.50	4.78
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	3		4		1		4.43	4.80
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	4			4			4.50	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	3		4		1		4.43	4.76
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5			3			4.63	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	4			4			4.50	4.79
9	演習の時間配分は適切だった。	3			5			4.38	4.57
10	教員の熱意が伝わってきた。	6			2			4.75	4.82
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4			4			4.50	4.76
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	4			4			4.50	4.81
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	2			6			4.25	4.74
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	3			5			4.38	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	2	2		3		1	3.86	4.65
問1～15全問平均								4.43	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

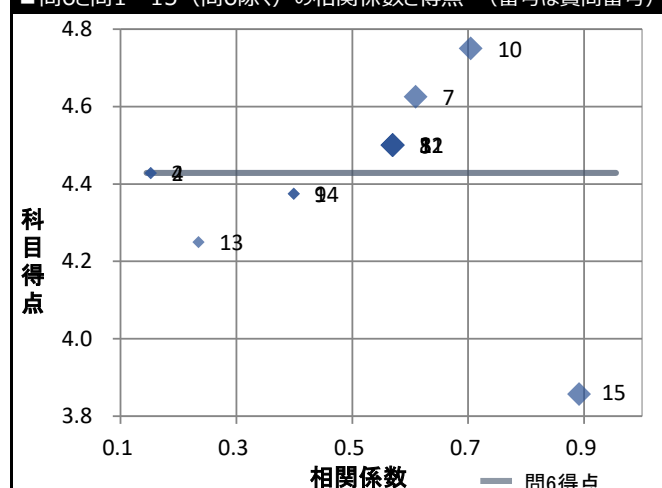


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数
- （3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問6と問1～15（問6除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、技術・方法の習得〔質問6〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

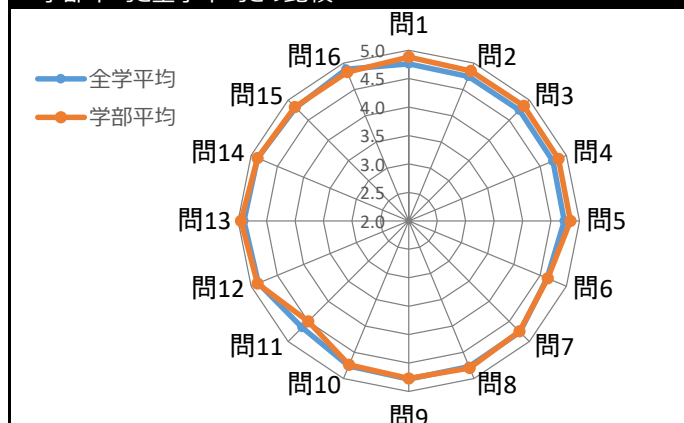
科目 コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
2B0080	身体運動実技	白井美穂	コロナ禍で対面で授業が出来なかったこと、集中授業の時間が長かったとのご意見があり、リアルタイムでのオンライン集中講義を行う場合、時間の配分等を再検討し、実施していきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。
2J0020	看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント①）	中村滋子	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後も、分かりやすく、そして楽しく学べるようにデモンストレーションを展開していきたいと思います。また患者体験によって、患者さんの気持ちを理解して取り組むことができたことのご意見をいただき、大変うれしく感じました。今後も演習方法は、皆さんの学びにつながるように工夫していきたいと思います。一方、演習の時間が延長してしまいましたので、授業時間内に終わるように検討していきます。また、技術試験について早めに知らせて欲しいとのご意見がありましたので、できるだけ早くお伝えしていきたいと思います。貴重なご意見をありがとうございました。
2J0050	看護技術論Ⅲ（基礎看護技術②）	殿城友紀 他	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後も、分かりやすいデモンストレーション、質問しやすい教員配置と雰囲気大切に演習を展開していきたいです。担当教員による教授方法の違いに関するご意見は教員間で共有し、改善してまいります。技術の特性として、原理・原則は共通ですが、「コツ」は教員によって異なる特徴もあります。ぜひ様々な教員の「コツ」を聞いていただき、ご自身に合う方法を見つけていただければと思います。オフィスアワーの人員について、特に試験直前は可能な限りの教員数を配置するように致しますが、試験直前は込み合いますので、計画的な練習をお勧めします。
2L0030	コミュニティ演習（GW・フィールドワーク等部分）	成木弘子	授業改善アンケートへの回答をしていただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が拡大する中でのフィールドワークの実施となりましたが、18か所の住民グループの方々の実習を受け入れてくれました。15か所では実際にフィールドワークができ、残りも住民の方々にインタビューを実施することができました。その様な状況の中での実施でしたが、評価は4.2以上を得ることができました。個別意見の中では「地域を実習以外で知って看護師になるのは患者さんへの見方が変わらと思うので良かった」「発表を通して様々なグループについて学べた」など多くの良かった点を回答していただき感謝いたします。また、「フィールドワークに行ってから発表までに準備の時間が短かった」「記録用紙はエクセルではなくワード等が良かった」などの意見が複数の方からあり、次年度の改善課題といたします。
2P0040	災害看護活動論Ⅰ	織方愛	アンケートへの回答ありがとうございます。デモと講義を組み合わせた演習で楽しく学べたという意見を多く頂戴しました。日本赤十字社の方がたの協力を得て、実際の救護に近い形で授業を受けられるのは貴重な機会だと存じます。災害看護論を学び、今回の災害看護活動論Ⅰを履修したことで、より学びが深まったことと存じます。災害時のこころのケアについては災害看護活動論Ⅱの履修もご検討ください。改善点としては、貴重な意見を頂いたので改善すべき点は次年度に生かしていきたいです。グループワークが長いという意見と、短いという意見があり、グループワークの内容やグループ人数によって時間の長さの感じ方に差があるように思いました。教員のほうでもグループワークのファシリテートの仕方などを考えていく必要があると思います。事前学修をグループ学習にすることについて反対意見がありました。その理由は何でしょうか？集まるのが難しかったり、どなたかの負担が大きく、どなたかが何もしなかったなどでしょうか？グループ学習を課した意図は、チームビルディングと、グループダイナミクスによる学習効果を期待したからでした。大学は自ら課題を発見し学ぶ姿勢を身につけることです。本学の方針（DP）にもあるように、グループの中で切磋琢磨して自らの意見を述べたり、グループの中で能力を発揮していない（役割を分担しない等）人も巻き込みながら学んでいく姿勢が求められます。グループで学びあうことが、教員の一方的な講義よりも学習効果が高いことがわかっています。このことをご理解いただけると幸いです。講義中のティーチングアシスタントの居眠りについては失礼しました。今後指導していきたいと存じます。2022年度はぜひ対面が実現すると嬉しく思います。
2P0050	災害看護活動論Ⅱ	織方愛	アンケートへの回答ありがとうございます。グループワークを交えた演習で楽しく学べたという意見を頂戴しました。映像や写真を活用し工夫した教材が評価されていることも嬉しく思います。災害看護専門看護師の体験談等の授業を受けられるのは貴重な機会だと存じます。災害看護論、災害看護活動論Ⅰを履修したことで、今回はより学びが深まったことと存じます。2022年度はぜひ対面が実現すると嬉しく思います。

学 部	さいたま看護学部	履修者数	178	回答率	56.2%
		回答数	100		

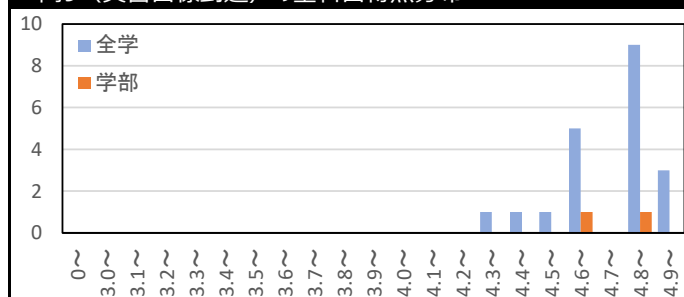
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。					88	12	4.88	4.76
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。					86	13	4.85	4.74
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。					87	12	4.86	4.75
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。					86	13	4.85	4.74
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。					89	7	4.84	4.73
6	教員と実習指導の連携が取れていた。					71	23	4.64	4.63
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。					76	23	4.75	4.76
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。					82	16	4.80	4.77
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。					80	17	4.77	4.78
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。					77	21	4.74	4.76
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。					66	20	4.50	4.65
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。					89	10	4.88	4.86
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。					95	5	4.95	4.90
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。					90	8	4.88	4.88
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。					86	12	4.83	4.81
16	学生は、体調管理に努めた。					86	11	4.83	4.89
問1～16全問平均								4.80	4.78

■学部平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布

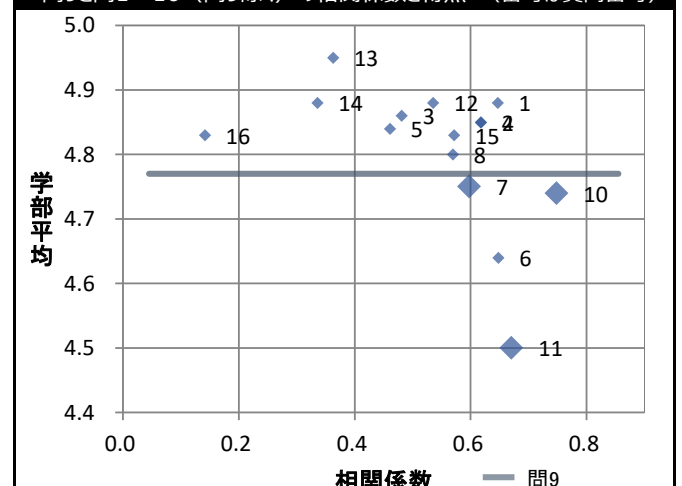


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

＜質問別回答内訳と得点＞

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝学部平均が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達[質問9]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

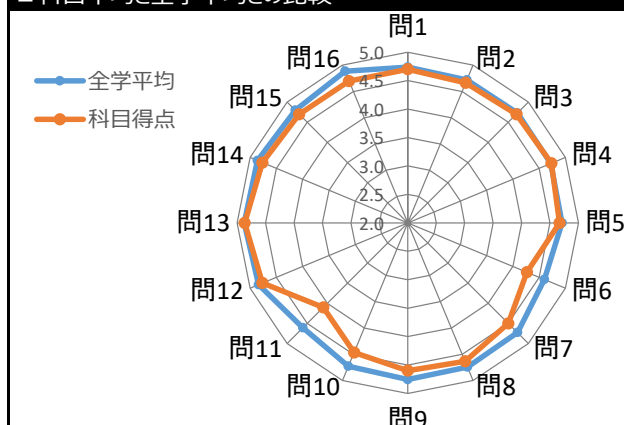
日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護援助論実習〔レベルⅠ〕	[2R0010]	学部	さいたま看護学部	履修者数	90	回答率
教員名	岡田 彩子		授業形態	実習	回答数	30	33.3%

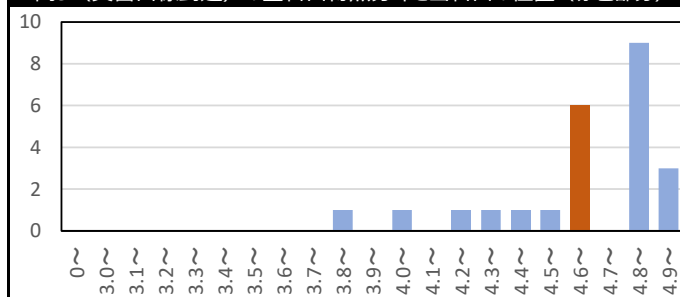
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	21				9		4.70	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	21			8	1		4.67	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	22			7	1		4.70	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	22			8			4.73	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	23			4	3		4.67	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	13		12		5		4.27	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	16		13		1		4.50	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	21		7		2		4.63	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	20		8		2		4.60	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	17		11		1	1	4.47	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	12		11		5	2	4.10	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	23		7				4.77	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	26		4				4.87	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	24		5		1		4.77	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	22		7		1		4.70	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。	22		7		1		4.70	4.88
問1～16全問平均								4.61	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

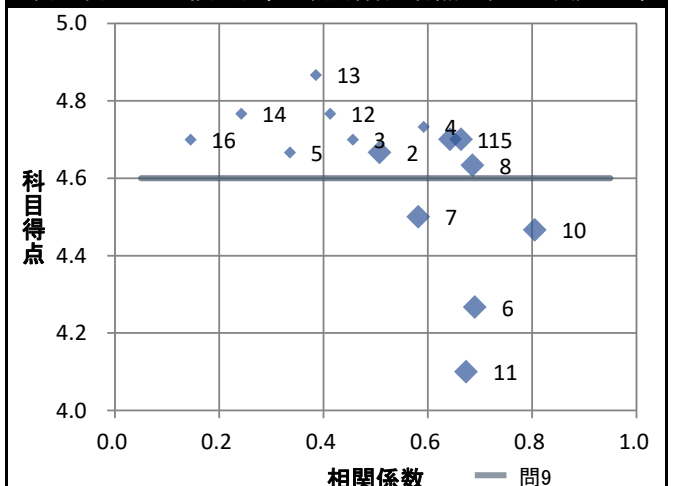


グラフ凡例	配点	問1～16
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	

<質問別回答内訳と得点>

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点<全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達[質問9]向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

授業改善アンケート【実習】科目別集計

日本赤十字看護大学
2021年度後期

科目名	看護援助論実習〔レベルⅡ〕	[2R0020]	学部	さいたま看護学部	履修者数	88	回答率
教員名	岡田 彩子		授業形態	実習	回答数	70	79.5%

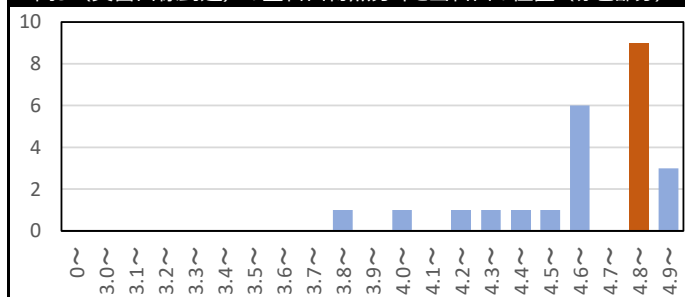
■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	全学平均
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。						3	4.96	4.74
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。						5	4.93	4.72
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。						5	4.93	4.73
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。						5	4.90	4.72
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。						3	4.91	4.71
6	教員と実習指導の連携が取れていた。						11	4.80	4.60
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。						10	4.86	4.73
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。						9	4.87	4.75
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。						9	4.84	4.75
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。						10	4.86	4.73
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。						9 7	4.67	4.61
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。						3	4.93	4.84
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。							4.99	4.88
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。						3	4.93	4.86
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。						5	4.89	4.80
16	学生は、体調管理に努めた。						4	4.89	4.88
問1～16全問平均								4.88	4.75

■科目平均と全学平均との比較



■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

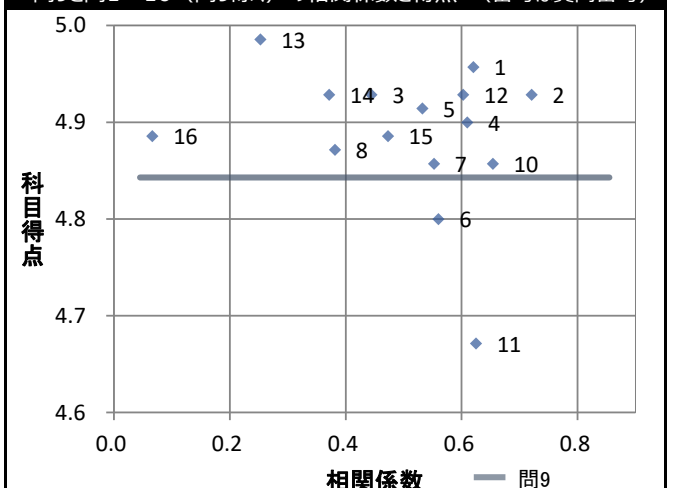


グラフ凡例	配点	問1～16
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし

＜質問別回答内訳と得点＞

・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)
・科目得点アミガケは科目得点＜全体平均

■問9と問1～16（問9除く）の相関係数と得点（番号は質問番号）



プロットが大きい項目（＝科目得点が全学平均以下で、相関係数0.5以上の項目）が、実習目標到達〔質問9〕向上のための優先課題と一般的には考えられます。なお、相関係数が計算不能の項目は出力されません。

科目 コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
2R0010	看護援助論実習〔レベルⅠ〕	岡田彩子	①日程や予定の変更は前日までには伝達してほしいというご意見を頂きました。コロナ感染症拡大時期に実施した臨地実習でしたので、突然の変更もあったと思います。様々な状況を考慮して、受け入れ施設側と学生や教員の安全を総合的に判断して、その時々判断をしてきました。その中で正確で確実な連絡を目指してきました。今回の経験を基に方法や体制を検討していきます。貴重なご意見をありがとうございました。②大学での貸し出し物品について、パルスオキシメーターの数を増やしてほしいとのご意見を頂きました。今後検討はしていきますが、看護はチームで動いていきますので、行動計画を立てる段階でグループの中で調整をする等の工夫することも学修になるかと思っておりますので、是非ご検討下さい。貴重なご意見をありがとうございました。③先生が忙しすぎてあまり相談できなかったのもう一人くらい先生を配置してほしいです、というご意見を頂きました。今年度の経験を基に皆さんからの相談を受けやすくする体制を検討していきます。貴重なご意見をありがとうございました。
2R0020	看護援助論実習〔レベルⅡ〕	岡田彩子	①実習の進行や記録の指示に違いがあったので統一してほしい、とのご意見をいただきました。実習の進行については、実習病棟、受け持ち患者さんの状況によって様々です。そのため画一的な対応はなく、状況に応じた対応も必要な学修形態であることもご理解ください。実習記録の指示について、実習の実施状況にも関係致しますが、今後は教員間の齟齬がないように実習準備を検討していきます。②実習中に実習指導者の勤務上の都合で変わることが複数回あったが、指導者さんによって指導の差があった。また、実習指導者の助言がわかりにくく、改善点への指摘が多かったことを改善してほしいとのご意見を頂きました。臨床現場では、入院患者やスタッフの状況によって勤務変更が求められる場合がありますので、ご理解ください。加えて、多くのことを学んで欲しいとの期待から多くのことを学生に求めてしまう指導者もいたと思われます。今後は、教員と実習指導者との連携をより深く、指導内容や方法について話し合いを重ね、より良い指導ができるように協力していきたいと思っております。③シャドーイングを行いたかった、との御意見を頂きました。実習目的や学生の皆さんの準備状況を考慮して、実習内容を考えております。実習開始時よりスムーズにそして段階的に実習を進めていけるよう今後検討していきます。④患者さんに渡すパンフレットはどこまで目を通してもらえばよいのか決めてほしいとのご意見をいただきました。パンフレットの内容や、そのパンフレットがどなたに活用していただくことを想定して作成しているかによって、内容を確認していただく関係性は異なります。患者さんへお渡しする情報の責任という事も考慮してのことですので、その点はご理解下さい。しかし、そのような中でもなるべくスムーズに患者さんお渡しできるように調整できるように努めます。⑤実習予定は、2か月前くらいにフローチャートで発表していただけると無駄な混乱がなくて良いと思っておりますとの御意見をいただきました。新型コロナウイルス感染症拡大時期の実習でしたので、社会全体の感染状況と、実習施設の状況や受け入れ体制等を鑑みながら、安全に実習を実施できるように、実習受け入れ施設にもご協力いただきながら、最大限の調整や努力をぎりぎりまでしておりましたことご理解下さい。今後は、今回の経験を活かし、コロナ感染症の中でも、皆さんにできる限りスムーズにお知らせできるように努めてまいります。⑥記録物が多すぎるとのご意見を頂きました。記録内容の重複は避けるように検討致しますが、実践を記録として記述することの意味や学修効果もありますので、それらをどのように取り組むことで、所定の記録物を完成させていけるかを建設的にご検討頂けると今後に役立つのではないかと思います。貴重なご意見をありがとうございました。